



神奈川県
鎌倉保健福祉事務所

鎌倉保健福祉事務所年報

2011(平成23)年度

神奈川県鎌倉保健福祉事務所

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響は暫く続き、被災地支援のための当所からの職員派遣も続けました。更に放射性物質に汚染された牛肉等の回収への指導対応もあり、県内でも茶葉やしいたけの汚染が判明し、出荷制限する事態になりました。食品の放射能に関しては、暫定基準値で対応していましたが、新しい基準値が制定され、平成24年4月より施行されています。新しい基準に則った安全・安心な食の提供や風評被害を防ぐことに努めています。

さて、2期お勤めになった松沢知事から黒岩知事に交代しました。黒岩知事は生ポリオワクチンによるポリオ発症を懸念して接種率が低下している現状を憂慮しており、本県では、全国で始めて国内未承認の不活化ポリオワクチンの集団接種が県保健福祉事務所を会場として開始されました。当所でも平成24年4月より周到的な準備及び慎重な会場運営と問診で、十分に安全に配慮して実施しています。

食に関連しては、富山県を中心とした焼肉チェーン店でのユッケによる腸管出血性大腸菌感染症の集団発生で死亡例が出たことから、牛の生食用食肉の規格基準が設定されて10月より施行となり、平成24年7月からは牛の生レバーは禁止されることになりました。営業者だけでなく、消費者にも生肉を食べることの危険性についての普及啓発に努めています。

一方、地域主権改革が各分野で進み、それぞれ円滑な移行に向けて対象市との調整を進めました。平成24年4月からは介護保険法関連で指定居宅サービス事業者等の立入検査等が中核市である横須賀市に、墓理法関連が市に権限委譲されました。更に、平成25年4月からは、母子保健法関連で未熟児訪問、未熟児養育医療及び育成医療が市町に権限委譲され、また、水道法関連では専用水道や小規模受水層水道等の業務が市に権限委譲される予定なので、現在円滑な移行に向けての調整を進めています。

また、国より精神疾患対策も加わった新たな医療計画作成指針が示され、平成25年からの県保健医療計画及び地域保健医療推進指針の作成が始まりました。

ところで、長引く不況と震災による景気への悪影響で社会的弱者にしわ寄せがきて、生活保護世帯が更に増加しています。平成24年春に芸能人の家族の不正受給が社会的に問題となりましたが、引き続き適切な運用に努めています。

本書は、平成23年度の当所事業実績を纏めたものです。保健・医療・福祉活動の資料として活用して頂ければ幸いです。

平成24年9月

神奈川県鎌倉保健福祉事務所長 深澤博史

目 次

第1章 概要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要	1
(1) 沿革	1
(2) 所管区域	2
(3) 機構及び分掌事務	3
(4) 職種別職員配置状況	4
(5) 施設の状況	4
(6) 経理状況	5
2 圏域の概要	6
(1) 圏域区域	6
(2) 面積及び人口等	6
(3) 人口の推移	6
(4) 5歳階級別人口	7
(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比	8
(6) 保健・医療・福祉施設総括表	9

第2章 管理課

1 表彰	10
(1) 神奈川県保健衛生表彰(知事)	10
(2) 神奈川県保健衛生表彰(保健福祉事務所長)	10
(3) 神奈川県献血推進功労者表彰(知事)	10
(4) 神奈川県献血推進功労者表彰(保健福祉事務所長)	10
2 免許事務取扱い件数	11

第3章 企画調整課

企画調整課業務	12
1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整	13
(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議	13
(2) 保健福祉サービス連携調整会議	13
(3) 地域保健師業務連絡会議	14
(4) 保健師活動実績	15
(5) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業	15
2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発	16
(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供	16
(2) 広報紙「うみかぜ」の発行	16
3 保健・福祉人材の育成	17
(1) 保健衛生研修	17
(2) 実習生指導	17
4 保健統計等	18
(1) 人口動態調査	18
(2) 衛生行政報告例(母体保護に関する統計部分)	18

(3) 国民生活基礎調査	18
(4) 社会保障・人口問題基本調査 人口移動調査	18
(5) 医療施設動態調査	18
(6) 医療施設静態調査	18
(7) 平成 23 年度患者調査	18
(8) 病院報告	19
(9) 地域保健・健康増進事業報告	19
(10) 福祉行政報告例	19
5 医務・献血関係	19
(1) 医療施設数・人口 10 万対率(市町別)	19
(2) 医療施設数・人口 10 万対率年次推移	19
(3) 病床数・人口 10 万対率(市町別)	20
(4) 病床数・人口 10 万対率年次推移	20
(5) 医務関係許可等取扱い件数	21
(6) 立入検査	21
(7) 医療従事者数・人口 10 万対率(市町別)	21
(8) 献血数・目標数(市町別)	22
(9) 年次別献血数・目標数	22
6 たばこ対策	23
(1) 受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等	23
(2) 地域禁煙サポート推進事業	23

第 4 章 保健福祉課

保健福祉課業務	24
1 母子保健	26
(1) 思春期保健事業	26
(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業	26
(3) 特定不妊治療費助成事業	26
(4) 未熟児訪問指導	27
(5) 小児医療援護	27
(6) 養育支援事業	28
(7) 保健福祉サービス連携調整会議(母子保健部会)	29
(8) 病院との継続看護	30
(9) ぜん息等アレルギー性疾患講習会	30
(10) 母子保健事業等連絡会	31
2 健康増進対策	31
(1) 健康づくり事業等	31
(2) がん検診普及啓発セミナー	31
(3) 市町村保健サービス評価支援活動	32
3 栄養・食生活対策	33
(1) 地域食生活対策基盤整備	33
(2) 広域的・専門的栄養改善活動	33
(3) 特定給食等指導	34
(4) 行政栄養士との連携・連絡調整	35

(5) 人材育成	35
4 歯科保健	36
(1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業	36
(2) 障害児者等歯科保健事業	36
(3) 歯周疾患予防対策事業(歯と歯ぐきの検診)	36
(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業	37
(5) 保健福祉サービス連携調整会議(歯科保健部会)	37
(6) 歯科健康教育	37
(7) 人材の育成	37
(8) 歯の健康づくり事業	38
(9) その他	38
(10) 8020 運動推進員養成事業	38
5 地域福祉	39
(1) 民生委員・児童委員の活動	39
(2) 障害福祉相談員の活動	39
(3) 地域福祉コーディネーター事業	39
(4) 成年後見制度普及啓発事業	40
(5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業	40
(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業	40
6 介護保険	41
(1) 介護保険審査会運営事業	41
(2) 介護保険指定事業者指導等事業	41
7 生活福祉の業務	42
(1) 生活保護業務	42
(2) 特別障害者手当等の支給状況	43
(3) 母子福祉資金等の貸付	43
(4) 母子自立支援員の設置	44
(5) 関連する業務	44

第5章 保健予防課

保健予防課業務	45
1 結核予防	46
(1) 定期の健康診断	46
(2) 健康診断	46
(3) 結核医療従事者研修	46
(4) 結核患者の状況	47
(5) 感染症診査協議会・結核部会	48
2 感染症予防	49
(1) 全数把握対象疾患情報(結核は除く)	49
(2) 集団かぜ(インフルエンザ)による臨時休業状況(延べ数)	49
(3) 感染症予防普及事業(健康教育等)	50
(4) 肝疾患対策	50
3 エイズ予防	51
(1) エイズ相談・検査	51

(2) エイズ予防普及事業	51
4 難病対策	52
(1) 特定疾患医療援護	52
(2) 相談	53
(3) 訪問指導	53
(4) 医療相談等	53
(5) 訪問相談	53
(6) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	53
(7) 在宅療養支援計画策定・評価事業	53
(8) 健康教育	53
5 原爆被爆者援護	54
(1) 被爆者健康手帳等交付状況	54
(2) 被爆者等定期健康診断受診状況	54
6 認知症対策	54
(1) 認知症患者の状況	54
(2) 認知症相談	54
(3) 訪問指導	55
(4) 処遇困難事例検討事業	55
(5) 地域支援	56
(6) 健康教育	56
7 精神保健福祉	57
(1) 相談・訪問指導	57
(2) 教育広報活動	58
(3) 団体支援及び連携	58
(4) 社会復帰の支援	59
(5) 医療保護関係事務	59
(6) 会議	60
(7) 社会的ひきこもり支援事業	61
(8) こころといのちのサポート事業	61

第6章 環境衛生課

環境衛生課業務	63
1 環境衛生営業施設等の衛生確保	64
(1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況	64
(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況	64
(3) 講習会開催状況	64
(4) 免許事務取扱い件数	64
(5) 海水浴場の水質検査実施状況	65
2 生活環境施設等の衛生確保	66
(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況	66
(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況	66
(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況	66
(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況	67
(5) 水道施設数及び監視指導状況	67

(6) 小規模水道等施設数及び監視指導状況	67
(7) 住まいと健康サポートシステムの推進	67
(8) 温泉施設数及び監視指導状況	67
(9) 墓地等施設数及び監視指導状況	67
(10) 苦情・相談等処理状況	67
3 動物保護対策	68
(1) 飼えなくなった犬、猫等の引き取り	68
(2) こう傷事故の発生状況	68
(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況	68
(参考事項) 市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況	68
4 医薬品等の安全性確保	69
(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況	69
(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数	69
(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況	69
(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数	70
(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況	70
(6) 麻薬免許事務等取扱い件数	70
(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況	71
(8) 覚せい剤事務取扱い件数	71
(9) 薬物乱用防止啓発活動	71

第7章 食品衛生課

食品衛生課業務	73
1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導	74
(1) 許可を要する営業施設	74
(2) 許可を要しない営業施設	75
(3) 営業施設数の年度別推移(5年間)	75
(4) 調理師免許等関係事務の取扱い	75
2 食品等の取去検査	76
(1) 食品等の品目別検査結果	76
(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移(5年間)	76
3 普及啓発の実施	77
(1) 食品衛生講習会の実施状況	77
4 食中毒等の処理	77
5 食品関係等の苦情処理	77
(1) 食品等の苦情処理	77
(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)	77

<資料>

1 人口動態統計	78
2 出生統計	83
3 死亡統計	91
4 福祉統計	101
5 神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部長表彰	104

6	刊行物発行実績	105
7	職員の研究・学会等発表	105

<本書の見方>

- 1 表の時点について特に付記のないものは、平成23年3月31日現在です。
- 2 表中の記号の用法は次のとおりです。

・合計欄以外で計数のない場合	—
・計数不明の場合	…
・統計項目のありえない場合	<input checked="" type="checkbox"/>
・比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

第 1 章 概 要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要

(1) 沿革

ア 鎌倉保健所

- 1944 (昭和 19) 年 10 月 逓信省簡易保険鎌倉健康相談所 (鎌倉市大町久保 27-1、通称琵琶小路、現鎌倉市由比ガ浜 2-3-11 鎌倉市授産所) の廃止に伴い、その施設を継承し、神奈川県鎌倉保健所として発足し、業務を開始。所管区域は、鎌倉市と鎌倉郡 (深沢村、大船町、片瀬町)。
- 1948 (昭和 23) 年 6 月 鎌倉郡が鎌倉、藤沢両市に分割併合され、鎌倉市を所管。
(深沢村は昭和 23 年 1 月、大船町は昭和 23 年 6 月鎌倉市に編入、片瀬町は昭和 22 年 4 月藤沢市に編入。)
- 1949 (昭和 24) 年 7 月 三浦郡葉山町が町民の要望により、三崎保健所の所管区域から鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1950 (昭和 25) 年 7 月 逗子が横須賀市から分離し、三浦郡逗子町となり、鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1951 (昭和 26) 年 10 月 神奈川県保健所整備拡充計画に基づき、鎌倉市乱橋材木座 1219 (現由比ガ浜 2-16-13) に新築移転。
- 1953 (昭和 28) 年 10 月 課制が施行され、総務課、衛生課、保健予防課を設置。
- 1953 (昭和 28) 年 11 月 葉山支所を葉山町一色 2017 に設置。
- 1963 (昭和 38) 年 3 月 庁舎を改築。
- 1969 (昭和 44) 年 7 月 総務課が管理課に改称。
- 1970 (昭和 45) 年 7 月 次長制を施行するとともに、保健予防課から保健婦業務を分離し、保健婦室を設置。
- 1974 (昭和 49) 年 8 月 衛生課を 2 課に分割し、環境衛生課と食品衛生課を設置。
- 1977 (昭和 52) 年 4 月 逗子市桜山 6-12-22 に逗子保健ステーションを設置。
- 1983 (昭和 58) 年 6 月 保健婦室を廃止し、健康指導課を設置。
- 1985 (昭和 60) 年 4 月 保健所試験検査業務集中処理の実施に伴い、鎌倉保健所の試験検査業務を藤沢保健所に集中し、鎌倉保健所の試験検査業務は廃止。
- 1987 (昭和 62) 年 11 月 葉山支所の庁舎を葉山町一色 1503-2 に新築し、移転。
- 1989 (平成元) 年 4 月 逗子保健ステーションを逗子市に移管。
- 1993 (平成 5) 年 4 月 部制が施行され、保健衛生部、環境衛生部の 2 部 4 課及び管理課となり、次長が副所長となる。
- 1997 (平成 9) 年 3 月 葉山支所を廃止。
- 1997 (平成 9) 年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と統合し、鎌倉保健福祉事務所として設置。管理課、企画調整室、保健福祉部 (保健福祉課、保健予防課)、生活衛生部 (環境衛生課、食品衛生課) の 2 部 1 室 5 課体制となる。
- 2007 (平成 19) 年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008 (平成 20) 年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

イ 福祉事務所

- 1951（昭和 26）年 10 月 社会福祉事業法の施行に伴い、三浦郡（三浦町、逗子町、葉山町）を所管区域とし、三浦福祉事務所が三浦地方事務所内（三浦町六合 3570）に設置され、所長（地方事務所長兼務）のほか次長がおかれ、庶務課、保護課の 2 課制で発足。
- 1955（昭和 30）年 7 月 三浦福祉事務所が廃止され、三浦郡葉山町は（逗子町は昭和 29 年 4 月、三浦町は昭和 30 年 1 月市制施行）中福祉事務所（平塚市平塚 1713）の所管区域となる。
また、次長制が廃止され、保護課が福祉課に改称。
- 1967（昭和 42）年 6 月 次長制が復活され庶務課が総務課に、福祉課が保護課に改称。
- 1969（昭和 44）年 7 月 中福祉事務所が湘南福祉事務所に改称され、事務所は平塚市西八幡 1-3-1、合同庁舎に移転。
また、所長は地方事務所長の兼務から専任所長制になり、総務課が管理課に改称。
- 1974（昭和 49）年 8 月 管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2 課 3 係制となる。
- 1981（昭和 56）年 6 月 保護課が福祉課に改称され、保護係、福祉係の 2 係制が廃止。
- 1982（昭和 57）年 6 月 管理課の管理係が廃止。
- 1985（昭和 60）年 4 月 横須賀三浦地区行政センターに福祉部が設置されるとともに、葉山福祉事務所が同行政センターの付置機関として設置され、三浦郡（葉山町）は葉山福祉事務所の所管区域となる。
また、葉山福祉事務所は同行政センター福祉部におかれ、所長は同行政センター所長の兼務となる。
- 1997（平成 9）年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と鎌倉保健所との統合により葉山福祉事務所は鎌倉保健福祉事務所に併置され、所長は鎌倉保健福祉事務所長の兼務となる。
- 2007（平成 19）年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008（平成 20）年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

（2）所管区域

ア 三浦半島地区に関する保健福祉にかかる総合調整、福祉関連事業

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

イ 保健所業務

鎌倉市、逗子市、葉山町の 2 市 1 町

（三浦市は三崎保健福祉事務所、保健所政令市である横須賀市は横須賀市保健所が所管）

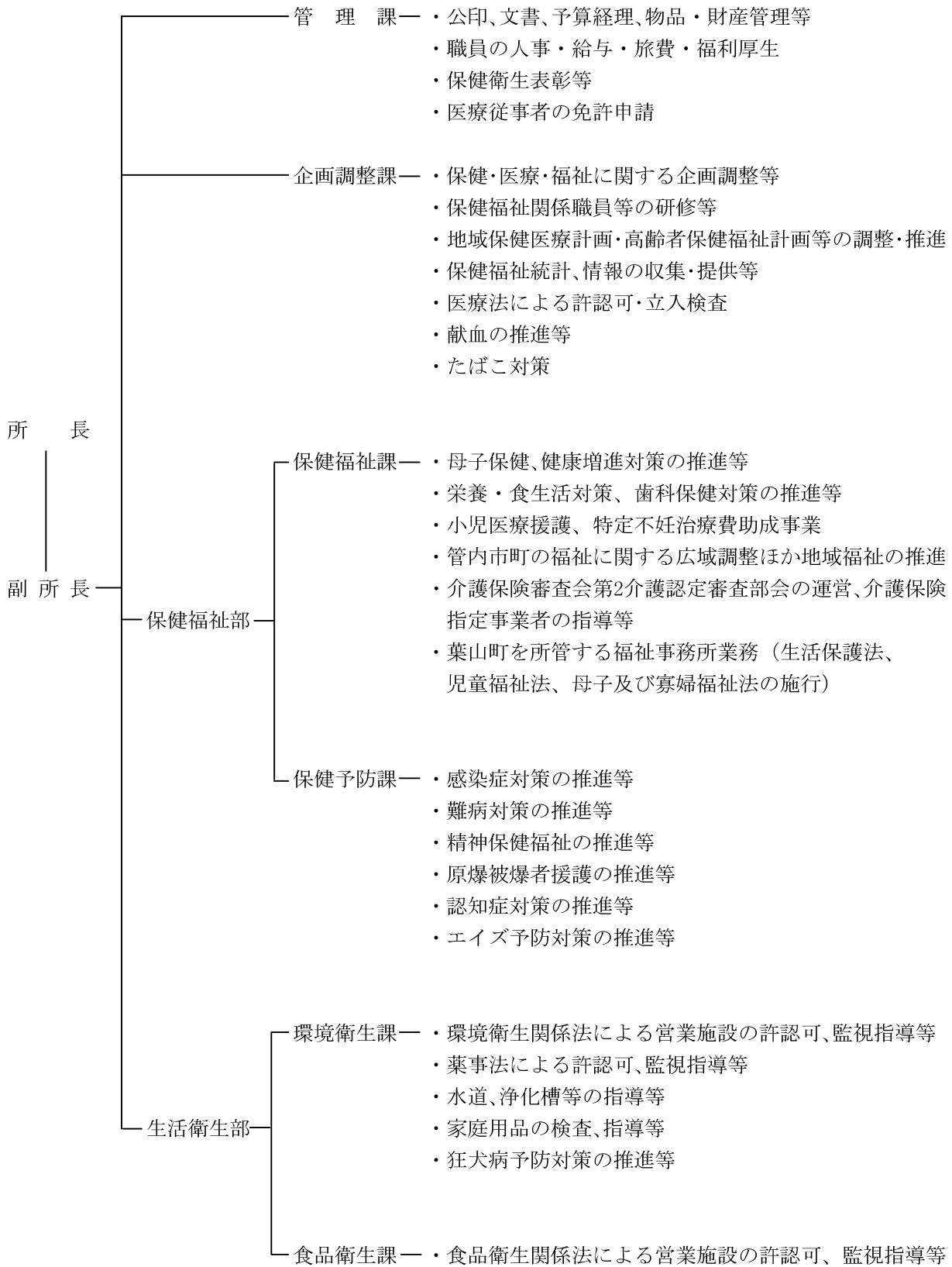
ウ 生活福祉業務

葉山町

エ 神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例関係

横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町の 3 市 1 町

(3) 機構及び分掌事務



(4) 職種別職員配置状況

平成 23 年 4 月 1 日現在

職 種	一 般 事 務 職	福 社 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 放 射 線 技 師	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 員	臨 時 的 任 用 職 員	再 任 用 職 員	非 常 勤 職 員	計
職員数	20	5	2	1	1	1	1	13	1	10	1	1	5	17	79

(5) 施設の状況

所在地	鎌倉市由比ガ浜 2-16-13		
土地	面積	1,546.36 m ²	
	取得年月日	1952 (昭和 27) 年 9 月 10 日	
建物	構造	本館 鉄筋コンクリート	車庫他 コンクリートブロック他
	規模	本館 地下 1 階地上 3 階	車庫他 平屋 4 棟
	面積	本館 1,318.22 m ²	車庫他 72.26 m ²
	取得年月日	本館 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日	車庫他 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日

(6) 経理状況

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
計	20,261,582	計	227,847,050
一般会計	20,261,582	一般会計	227,845,500
負担金	1,330,384	総務管理費	28,089,344
衛生費負担金	1,330,384	一般管理費	26,724,344
使用料	15,875	財産管理費	1,365,000
衛生使用料	15,875	社会福祉費	27,535,750
手数料	17,359,210	社会福祉総務費	27,535,750
衛生手数料	17,359,210	児童福祉費	5,993,569
財産運用収入	340,000	児童福祉総務費	350,030
財産貸付収入	340,000	児童措置費	4,466,522
財産売払収入	640	母子福祉費	1,177,017
物品売払収入	640	障害福祉費	3,594,320
立替収入	181,001	障害福祉総務費	3,594,320
衛生立替収入	181,001	老人福祉費	921,883
雑入	1,034,472	老人保健福祉総務費	648,483
雑入	1,034,472	介護保険事業費	273,400
		生活保護費	133,525,892
		生活保護総務費	4,356,959
		扶助費	129,168,933
		公衆衛生費	9,272,915
		公衆衛生総務費	1,532,900
		母子保健指導費	850,735
		予防費	4,065,770
		精神保健福祉費	1,690,510
		生活習慣病対策費	453,000
		衛生研究所費	680,000
		環境衛生費	751,970
		生活衛生指導費	751,970
		保健所費	15,092,961
		保健所費	15,092,961
		医薬費	270,700
		医務費	55,000
		救急医療対策費	91,700
		薬務費	124,000
		雇用対策費	2,796,196
		雇用対策事業費	2,796,196
		母子寡婦福祉資金会計	1,550
		事務費	1,550
		貸付事務費	1,550

2 圏域の概要

(1) 圏域区域



(2) 面積及び人口等

2011(平成23)年10月1日現在

市町名	面積 (km ²)	人 口 (人)			世帯数 (世帯)	一世帯 当たり 人数 (人)	人口密度 (人/km ²)	一年間の 人口増 (人)
		男	女	計				
横須賀市	100.71	207,886	208,366	416,252	164,748	2.53	4,133 ▲ 2,073	
鎌倉市	39.53	82,214	92,036	174,250	72,884	2.39	▲ 64	
逗子市	17.34	27,501	30,822	58,323	24,023	2.43	21	
三浦市	32.28	23,068	24,812	47,880	17,919	2.67	▲ 472	
葉山町	17.06	15,429	17,432	32,861	12,639	2.60	95	
計	206.92	356,098	373,468	729,566	292,213	2.50	▲ 2,493	
神奈川県	2,415.84	4,543,663	4,515,953	9,059,616	3,873,778	2.34	3,750	

県勢要覧・神奈川県人口統計調査

(3) 人口の推移

各年10月1日現在

年次別	横須賀市		鎌倉市		逗子市		三浦市		葉山町		計	
	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率
1995年 (平成7)	432,193	▲ 0.7	170,319	▲ 0.9	56,577	0.1	54,152	▲ 0.3	29,884	▲ 0.5	743,125	▲ 0.6
2000年 (平成12)	428,645	▲ 0.4	167,583	0.0	57,281	▲ 0.5	52,253	▲ 1.0	30,413	0.5	736,175	▲ 0.3
2005年 (平成17)	426,162	▲ 0.6	171,122	0.7	58,025	▲ 0.8	49,869	▲ 1.1	31,532	0.1	736,710	▲ 0.3
2006年 (平成18)	423,151	▲ 0.7	172,820	1.0	58,406	0.7	49,646	▲ 0.4	31,710	0.6	735,733	▲ 0.1
2007年 (平成19)	422,040	▲ 0.3	173,263	0.3	58,600	0.3	49,422	▲ 0.5	31,919	0.7	735,244	▲ 0.1
2008年 (平成20)	420,719	▲ 0.3	173,439	0.1	58,660	0.1	49,014	▲ 0.8	32,234	1.0	734,066	▲ 0.2
2009年 (平成21)	419,838	▲ 0.2	174,164	0.4	58,738	0.1	48,671	▲ 0.7	32,389	0.5	733,800	0.0
2010年 (平成22)	418,325	▲ 0.4	174,314	0.1	58,302	▲ 0.7	48,352	▲ 0.7	32,766	1.2	732,059	▲ 0.2
2011年 (平成23)	416,252	▲ 0.5	174,250	0.0	58,323	0.0	47,880	▲ 1.0	32,861	0.3	729,566	▲ 0.3

神奈川県人口統計調査

(4) 5歳階級別人口

2011(平成23)年1月1日現在

市町名		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
横須賀市	男	7,995	9,028	9,529	10,803	11,911	11,642	13,242	16,789	15,304
	女	7,458	8,487	9,078	9,103	9,611	9,849	11,677	15,128	13,759
	計	15,453	17,515	18,607	19,906	21,522	21,491	24,919	31,917	29,063
鎌倉市	男	3,401	3,594	3,665	3,407	3,310	3,836	4,801	6,607	6,799
	女	3,252	3,511	3,590	3,282	3,605	3,932	5,104	7,104	6,951
	計	6,653	7,105	7,255	6,689	6,915	7,768	9,905	13,711	13,750
逗子市	男	1,051	1,208	1,348	1,271	1,066	1,103	1,510	2,140	2,246
	女	1,080	1,145	1,315	1,145	1,057	1,157	1,677	2,300	2,394
	計	2,131	2,353	2,663	2,416	2,123	2,260	3,187	4,440	4,640
三浦市	男	693	876	998	1,186	1,056	1,095	1,167	1,476	1,481
	女	712	837	984	1,092	1,111	1,059	1,118	1,480	1,385
	計	1,405	1,713	1,982	2,278	2,167	2,154	2,285	2,956	2,866
葉山町	男	697	816	792	666	550	499	759	1,209	1,321
	女	646	784	761	670	541	610	874	1,400	1,419
	計	1,343	1,600	1,553	1,336	1,091	1,109	1,633	2,609	2,740
計	男	13,837	15,522	16,332	17,333	17,893	18,175	21,479	28,221	27,151
	女	13,148	14,764	15,728	15,292	15,925	16,607	20,450	27,412	25,908
	計	26,985	30,286	32,060	32,625	33,818	34,782	41,929	55,633	53,059

市町名		45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
横須賀市	男	13,404	12,007	13,267	17,338	15,049	12,342	9,740	9,311	208,701
	女	12,362	11,379	13,504	18,488	16,342	13,559	11,798	17,505	209,087
	計	25,766	23,386	26,771	35,826	31,391	25,901	21,538	26,816	417,788
鎌倉市	男	6,137	4,884	4,865	6,541	5,722	5,148	4,449	5,109	82,275
	女	6,065	4,861	5,426	7,613	7,049	6,158	5,633	8,949	92,085
	計	12,202	9,745	10,291	14,154	12,771	11,306	10,082	14,058	174,360
逗子市	男	2,135	1,670	1,620	2,274	1,975	1,700	1,501	1,687	27,505
	女	2,071	1,773	1,774	2,570	2,433	2,116	1,896	2,913	30,816
	計	4,206	3,443	3,394	4,844	4,408	3,816	3,397	4,600	58,321
三浦市	男	1,467	1,405	1,837	2,394	1,920	1,611	1,298	1,363	23,323
	女	1,427	1,387	1,968	2,330	2,013	1,820	1,606	2,644	24,973
	計	2,894	2,792	3,805	4,724	3,933	3,431	2,904	4,007	48,296
葉山町	男	1,155	891	938	1,257	1,221	1,009	792	889	15,463
	女	1,123	880	997	1,576	1,394	1,136	892	1,636	17,339
	計	2,278	1,771	1,935	2,833	2,615	2,145	1,684	2,525	32,802
計	男	24,298	20,857	22,527	29,804	25,887	21,810	17,780	18,359	357,267
	女	23,048	20,280	23,669	32,577	29,231	24,789	21,825	33,647	374,300
	計	47,346	41,137	46,196	62,381	55,118	46,599	39,605	52,006	731,567

(注) 計には「年齢不詳」を含む。

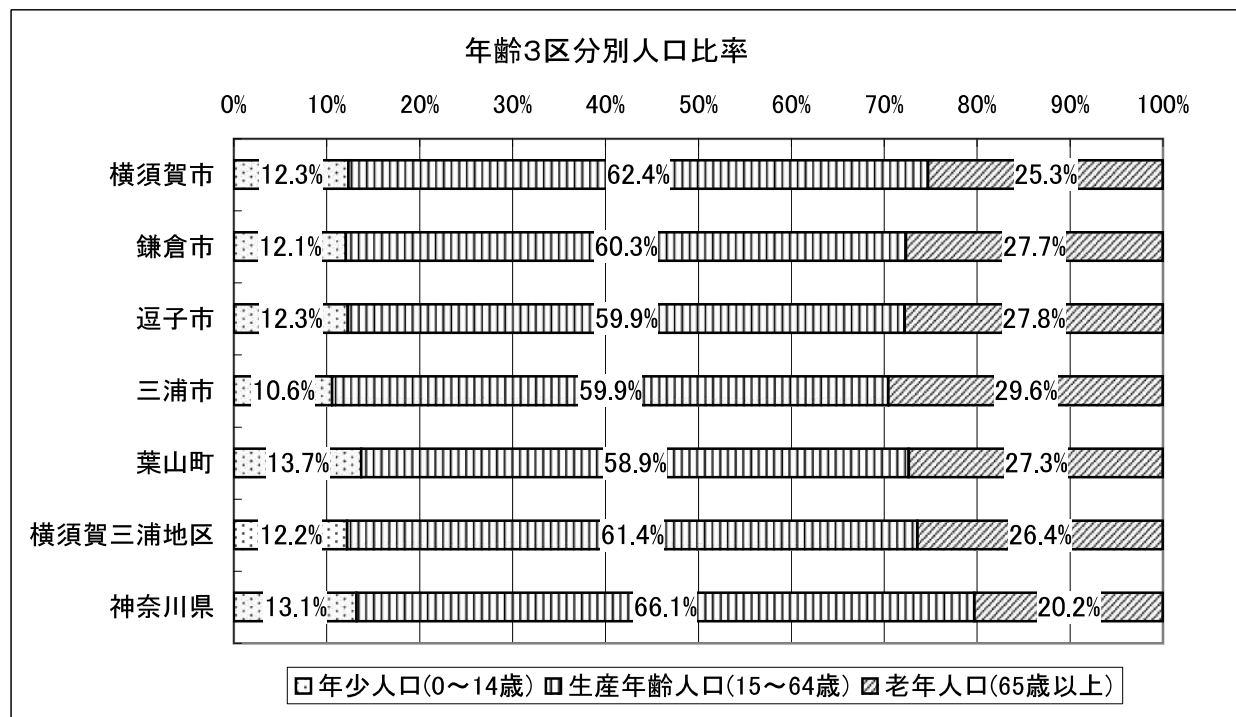
神奈川県年齢別人口統計調査結果報告

(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比

2011(平成23)年1月1日現在

団体名		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		計
		数	率	数	率	数	率	
横須賀市	男	26,552	12.7%	135,707	65.0%	46,442	22.3%	208,701
	女	25,023	12.0%	124,860	59.7%	59,204	28.3%	209,087
	計	51,575	12.3%	260,567	62.4%	105,646	25.3%	417,788
鎌倉市	男	10,660	13.0%	51,187	62.2%	20,428	24.8%	82,275
	女	10,353	11.2%	53,943	58.6%	27,789	30.2%	92,085
	計	21,013	12.1%	105,130	60.3%	48,217	27.7%	174,360
逗子市	男	3,607	13.1%	17,035	61.9%	6,863	25.0%	27,505
	女	3,540	11.5%	17,918	58.1%	9,358	30.4%	30,816
	計	7,147	12.3%	34,953	59.9%	16,221	27.8%	58,321
三浦市	男	2,567	11.0%	14,564	62.4%	6,192	26.5%	23,323
	女	2,533	10.1%	14,357	57.5%	8,083	32.4%	24,973
	計	5,100	10.6%	28,921	59.9%	14,275	29.6%	48,296
葉山町	男	2,305	14.9%	9,245	59.8%	3,911	25.3%	15,463
	女	2,191	12.6%	10,090	58.2%	5,058	29.2%	17,339
	計	4,496	13.7%	19,335	58.9%	8,969	27.3%	32,802
計	男	45,691	12.8%	227,738	63.7%	83,836	23.5%	357,267
	女	43,640	11.7%	221,168	59.1%	109,492	29.3%	374,300
	計	89,331	12.2%	448,906	61.4%	193,328	26.4%	731,567
神奈川県	男	607,626	13.4%	3,089,186	68.0%	814,778	17.9%	4,544,151
	女	580,304	12.9%	2,897,029	64.3%	1,009,877	22.4%	4,506,877
	計	1,187,930	13.1%	5,986,215	66.1%	1,824,655	20.2%	9,051,028

(注) 計には「年齢不詳」を含む。



(6) 保健・医療・福祉施設総括表

ア 保健福祉関係

種類		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
保健福祉	訪問看護ステーション		13	7	3	4	—	27
	保健センター		—	—	1	—	1	2
	健康福祉センター		4	—	—	—	—	4
	福祉センター		—	1	—	—	—	1
高齢者	介護老人保健施設 (特別養護老人ホーム)		9	5	2	2	1	19
	介護療養型医療施設		20	9	2	3	2	36
	介護療養型医療施設		2	2	—	—	—	4
	養護老人ホーム		2	—	—	1	—	3
	軽費老人ホーム		—	2	—	—	—	2
	老人デイサービスセンター		53	21	4	9	1	88
	地域包括支援センター		13	5	2	2	1	23
老人福祉センター		5	4	1	1	1	12	
障害者	*旧法指定 施設	身体障害者療護施設(入所)	—	—	—	—	—	0
		身体障害者授産施設(入所)	—	—	—	—	—	0
		知的障害者更正施設	4	1	—	—	1	6
		知的障害者授産施設	3	2	—	—	1	6
		精神障害者小規模通所授産施設	1	1	—	—	—	2
	指定障害福祉サービス	居宅介護	53	29	9	2	—	93
		重度訪問介護	53	29	9	2	—	93
		行動援護	1	3	1	—	—	5
		重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	0
		児童デイサービス	3	2	—	1	—	6
		短期入所(ショートステイ)	7	5	1	—	—	13
		共同生活介護(ケアホーム)	25	5	1	2	—	33
		障害者支援施設(施設入所支援)	8	1	—	—	—	9
		障害者支援施設(昼間実施サービス)	10	1	—	—	—	11
		共同生活援助	11	6	1	2	—	20
		療養介護	—	1	—	—	—	1
		生活介護	14	8	3	1	—	26
		自立訓練(機能訓練)	1	—	—	—	—	1
		自立訓練(生活訓練)	1	1	—	—	—	2
		就労移行支援	1	3	1	—	—	5
就労継続支援(A型)	—	5	1	—	—	6		
就労継続支援(B型)	8	9	3	3	—	23		
相談支援	11	4	2	—	—	17		
身体障害者ケア付住宅	—	—	—	—	—	0		
地域活動支援センター	5	2	2	1	—	10		
障害者地域作業所	25	10	1	3	—	39		
児童	保育所(公立)	11	6	2	—	1	20	
	保育所(私立)	30	16	3	4	1	54	
	助産施設	4	1	—	1	—	6	
	児童自立支援施設	—	—	—	—	—	0	
	児童養護施設	2	1	—	—	1	4	
	知的障害児通園施設	—	1	—	—	—	1	

※ 旧法指定施設については、平成24年3月31日まで、経過措置期間が設けられています。

イ 医療関係

施設		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
医療施設等	病院		12	13	2	2	1	30
	一般診療所		337	172	63	28	15	615
	歯科診療所		249	128	44	23	13	457
	助産所		13	9	4	—	—	26
薬事施設	歯科技工所		73	23	7	9	6	118
	薬局		175	84	33	20	5	317
施術所	医薬品販売業		75	20	4	9	5	113
	あんま・はり・きゅう		339	272	109	40	47	807
	柔道整復		107	45	14	12	4	182

第2章 管理課

1 表彰

(1) 神奈川県保健衛生表彰（知事）

（期日：2011(平成23)年11月16日（水） 場所：神奈川県総合医療会館）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
井口 和幸	医師	医院開設
鈴木 慶子	医師	医院開設
箕田 定明	歯科医師	医院開設
石井 次郎	美容師	美容院経営
鈴木 裕子	栄養士	地方公務員
川原 良司	飲食店営業	寿司店経営

(2) 神奈川県保健衛生表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2011(平成23)年11月24日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
井上 俊夫	医師	病院管理者
池上 厚	医師	診療所管理者
山内 由光	歯科医師	歯科診療所管理者
浅羽 裕	歯科医師	歯科診療所管理者
金子 起子	看護師	病院勤務
瀧 真佐留	診療放射線技師	病院勤務
鳥山 勝巳	獣医師	動物病院管理者
平井 壽治	浄化槽管理士	会社経営
金本 博昌	理容師	理容所経営
矢島 義則	食品衛生指導員	魚介類販売経営
石渡 英子	食生活改善推進員	団体役員
(有) 三盛楼 レストランシーキャッスル	菓子製造業 飲食店営業	菓子製造業 飲食店営業

(3) 神奈川県献血推進功労者表彰（知事）

（期日：2011(平成23)年11月26日（土） 場所：神奈川芸術劇場）

シンロイヒ株式会社

(4) 神奈川県献血推進功労者表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2011（平成23）年11月24日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）

鎌倉中央ロータリークラブ

鎌倉ロータリークラブ

2 免許事務取扱い件数

項目	医 師	齒 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	管 理 栄 養 士	准 看 護 師	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	齒 科 技 工 士	指 導 員	受 胎 調 節 実 地	計
登録申請	35	0	2	41	10	135	10	6	20	3	4	—	9	4	—	1	3	—	283
籍訂正	8	2	12	8	1	43	7	8	9	2	4	1	7	1	1	—	—	—	114
再交付	2	1	1	—	—	2	—	—	2	—	1	—	—	—	—	1	—	—	10
登録抹消	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
計	49	3	15	49	11	180	17	14	31	5	9	1	16	5	1	2	3	—	411

第3章 企画調整課

企 画 調 整 課 業 務

保健福祉事務所は、保健・福祉を一体的に推進し、広域的・専門的な役割を持つ県機関として、平成9年4月、それまでの保健所と福祉事務所等を統合して設置されました。

企画調整課は、三浦半島の4市1町(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)を圏域とする保健・医療・福祉の総合的な企画調整機能を始めとして、保健福祉事務所業務に関する調整や情報提供、保健・福祉人材の育成、さらに、保健統計や医事関係事務、受動喫煙防止対策などの業務を行っています。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

地域保健医療計画の推進など保健・医療・福祉に係る重要事項を検討協議するため、三浦半島地区保健医療福祉推進会議を開催しました。

また、管内保健福祉サービス関係機関の相互連携の推進や管内保健師業務の調整、地域の健康課題を把握するための地域診断事業等を行いました。

2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

市町広報紙・地域 FM 放送、所ホームページ等を通じて情報提供を行うとともに、保健福祉事務所年報及び広報紙『うみかぜ』を発行するなど、様々な媒体を用いて普及啓発に努めました。

3 保健・福祉人材の育成

保健衛生に関わる管内市町等職員の資質向上のため、市町保健師の研修を実施するとともに、栄養士、歯科衛生士等の保健福祉関係者に対する研修を実施したほか、看護、保健福祉関係の実習生の受入れ等を行いました。

4 保健統計等

国による人口動態統計など、保健福祉に係る各種統計調査関係業務を実施しました。

5 医務・献血関係

病院、診療所、施術所等の開設、変更等に伴う許認可等事務や病院、診療所に対する立入検査を行ったほか、献血の促進を図りました。

6 受動喫煙防止条例施行等に関する普及啓発

受動喫煙防止条例に関する一般県民向け、事業者向けの普及啓発活動を行いました。

また、喫煙防止対策を推進するため、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議

平成20年3月に策定した「三浦半島地区地域保健医療計画」の22年度の実施状況の評価を行うとともに、管内医療体制について各団体との情報共有を図りました。

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
2月15日	医師会 病院団体 歯科医師会 薬剤師会 社会福祉協議会 社会福祉施設 労働基準監督署 教育事務所 市町 鎌倉・三崎保健福祉事務所	・三浦半島地区地域保健医療計画の進行状況について	25

(2) 保健福祉サービス連携調整会議

管内における保健・医療・福祉関係者の連携による各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、保健福祉サービス連携調整会議・部会を開催しました。

部 会 名	担 当 課	掲 載 ペ ー ジ
母子保健部会	保健福祉課	29
食生活対策部会		33
歯科保健部会		37
地域精神保健福祉部会	保健予防課	60

※ 詳細については、各部会のページに記載

(3) 地域保健師業務連絡会議

管内の保健・福祉における保健師業務の情報交換、連絡協議の場として会議及び研修会を開催しました。

<会議>

月 日	場 所	内 容	出席人員
7月7日	鎌倉保健福祉事務所	議題 ① 平成22年度研修会実施報告と平成23年度計画について ② 保健師活動について～災害発生時の対応から平時の活動を考える～ ③ その他 ・新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～	15

<合同研究会（湘南ブロック研修会）> ※ 茅ヶ崎・三崎保健福祉事務所と合同企画

月 日	場 所	内 容	出席人員
8月23日	三崎保健福祉事務所	・講演「市町村現場における健康政策形成～静岡県小山町の実践～」 講師 静岡県小山町 住民福祉部健康課長 羽佐田武氏	21
8月24日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「健康危機管理におけるクライシスコミュニケーションのあり方」 講師 慶應義塾大学商学部 教授 吉川肇子氏	35
10月13日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「保健福祉従事者のための『行列のできる講座とチラシの作り方』～企画、広報の達人になるために～」 講師 NPO法人 男女共同参画おおた理事長 牟田静香氏	36
11月24日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「相談対応の技術 ～援助関係成立とアセスメントの力を高め、よい事例検討会を開くために～」 講師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 教授 北岡英子氏	22

<管内保健師研修会>

管内で新任期保健師研修会を3回実施

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月1日	鎌倉保健福祉事務所	・講演・グループワーク 「災害発生時の保健師活動」 ～準備期（平時）の活動の充実～ 講師 鎌倉保健福祉事務所 保健予防課長	12
11月7日	鎌倉保健福祉事務所	・講演 「保健師活動の核になるもの」 ① インドネシアで実感した保健師活動の基本 講師 鎌倉保健福祉事務所 保健予防課臨時技師 ② ベテラン保健師から保健師活動の醍醐味を聴こう 講師 鎌倉保健福祉事務所 保健福祉課長	8
24年 1月5日	鎌倉保健福祉事務所	・報告会・助言 「地区診断の試み～担当業務から住民の声や地区の実態・健康ニーズを明らかにする～」 ① 各保健師の実施報告 ② 助言とまとめ 神奈川県立保健福祉大学看護学科 講師 准教授 難波貴代氏 助教 石川志麻氏	13

(4) 保健師活動実績

ア 家庭訪問・対象別件数

項目	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他	合計
				1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	19歳以上		1歳未満	1歳以上			
件数	4	46	98	13	39	13	5	0	0	0	57	1	8	0	0	4	119	45	6	16	474

訪問内容別再掲														
精神障害			難病				介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待	
社会復帰	認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査		苦情等調査	喘息	皮膚炎		アトピー性
0	60	3	0	0	0	57	0	0	0	1	0	0	0	3

イ 所内指導

項目	感染症	結核	精神障害	認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他	計	
面接	2	39	58	16	7	6	1	46	3	1	1	0	35	3	1	0	2	0	14	235
電話	45	660	295	377	41	47	6	46	17	20	5	0	461	15	10	19	16	37	77	2,194
文書	0	11	0	0	1	3	0	1	1	2	0	0	111	0	2	0	0	2	20	154
計	47	710	353	393	49	56	7	93	21	23	6	0	607	18	13	19	18	39	111	2,583

(5) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業

保健衛生統計等各種統計データの収集、整理及び分析を行うことにより、地域の健康課題を総合的に把握するための広域的な地域診断を行いました。

ア 保健情報データベースの更新

人口、人口動態（出生、死亡、婚姻・離婚）、基本健康診査、乳幼児健康診査、国民健康保険疾病統計、介護保険等のデータを更新しました。

2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供

広報媒体名	登 載 日
県のたより「かながわ情報館」	毎月1日
広報かまくら「保健コーナー」	毎月1日
鎌倉衛生時報	毎月15日（1月のみ1日）
広報ずし	毎月1日
健康はやま「鎌倉保健福祉事務所コーナー」	偶数月1日
かまくらFM「かまくらじお」	毎月（82.8MHz）
湘南ビーチFM「トークイン葉山」	毎月（78.9MHz）
鎌倉ケーブルコミュニケーションズ（CATV）	毎月
三浦半島だより	6、9、12、3月

(2) 広報紙「うみかぜ」の発行

発行年月日	内 容
平成23年7月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・危険！食肉の生食！ ・猛暑、節電による暑い夏を上手に乗り切るための《夏の健康管理3か条》 ・海水浴場のたばこ対策に関するルールが平成22年からスタートしました！ ・慢性疾患児教室 ・ふたごちゃん・みつごちゃんのための育児教室 ・7月～9月の行事・検診のお知らせ
平成23年12月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のかながわレッドリボン月間 ・こどもアレルギー教室のご案内 ・ノロウイルス食中毒・感染症対策 ・口の中をきれいにして、インフルエンザ予防？！ ・食品衛生責任者養成講習会 ・12月～2月の行事・検診のお知らせ

3 保健・福祉人材の育成

(1) 保健衛生研修

ア 地域母子保健対策推進研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月29日	鎌倉保健 福祉事務所	こどもを虐待から守るために～ 家庭訪問・育児相談でのアセス メントやエジンバラ産後うつ病 質問票を用いた支援について～	北里大学看護学部 准教授 新井陽子氏	20

イ 在宅歯科衛生士研修・在宅栄養士研修(合同開催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月6日	鎌倉保健 福祉事務所	その気にさせる話し方 ～プレゼンテーションで差がつ く保健指導～	東京工芸大学芸術学部 准教授 大島武氏	25

ウ 地域保健福祉実務研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月30日	鎌倉保健 福祉事務所	<感染症予防研修> ～高齢者編～ 高齢者の感染症と感染症予防対 策、食中毒の予防、消毒、手洗 いの実際	当所 職員	20
24年 3月19日		<精神保健福祉研修> 人格障害の基礎知識とその対応 ～相手のペースの巻き込まれず に、落ち着いて対応するために ～	国立精神・神経医療研究センター 病院 医師 小林桜児氏	57

(2) 実習生指導

ア 合同オリエンテーション

月 日	参加人員
4月8日	33
9月2日	44
計	77

イ 保健福祉事務所実習

種 別	施設数	実習生数
看護学生	5	29
保健師学生	4	30
社会福祉士学生	1	1
栄養士学生	4	14
歯科衛生士学生	1	3
計	15	77

4 保健統計等

(1) 人口動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	指定統計として出生、死亡、婚姻、離婚の各届出から移記作成され、住民の健康に関する特性や問題点を把握

(2) 衛生行政報告例（母体保護に関する統計部分）

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の産婦人科医	母体保護法の規定による不妊手術及び妊娠中絶手術の届出件数

(3) 国民生活基礎調査

対象年月	対 象	内 容
平成23年6月2日	厚生労働省が無作為抽出した地区内（鎌倉市の一部、逗子市の一部）の189世帯	健康、医療、福祉、年金等国民生活の基礎的事項の把握

(4) 社会保障・人口問題基本調査 人口移動調査

対象年月	対 象	内 容
平成23年7月1日	国民生活基礎調査の対象地区のうち、厚生労働省が無作為抽出した地区内（鎌倉市の一部、逗子市の一部）の138世帯	人口移動の動向・要因を把握

(5) 医療施設動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	病院、一般診療所、歯科診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握

(6) 医療施設静態調査

対象年月	対 象	内 容
平成23年10月1日	平成23年10月1日午前零時現在において開設している全ての病院、診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握（3年に一度実施）

(7) 平成23年度患者調査

対象年月	対 象	内 容
入院・外来：平成23年10月18日～20日のうち1日 退院：平成23年9月1日～30日	全国の医療施設のうち無作為抽出された病院（管内14ヶ所）及び診療所（管内10ヶ所）を利用する患者	病院及び診療所を利用する患者について、その疾病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料とする。

(8) 病院報告

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の病院 16ヶ所及び療養病床を有する診療所1ヶ所	保健所及び市町における地域保健・ 健康増進事業の実施状況の把握

(9) 地域保健・健康増進事業報告

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	保健所及び市町における地域保健・ 健康増進事業の実施状況の把握

(10) 福祉行政報告例

対象年月	対 象	内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	社会福祉行政の実態の把握

※ 備考 各調査結果は厚生労働省の報告書として公表されます
公表時期等詳細は、保健福祉事務所までお問い合わせください。

5 医務・献血関係

(1) 医療施設数・人口10万対率（市町別）

市町名	病 院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・ きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	13	7.5	172	98.8	128	73.5	9	5.2	272	156.2	45	25.8	23	13.2
逗子市	2	3.4	63	108.2	44	75.6	4	6.9	109	187.3	14	24.1	7	12.0
葉山町	1	3.1	15	45.8	13	39.7	-	-	47	143.4	4	12.2	6	18.3
計	16	6.0	250	94.3	185	69.8	13	4.9	428	161.4	63	23.8	36	13.6

(2) 医療施設数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病 院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・ きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
1995年 (平成7)	18	7.1	226	88.5	160	62.7
2000年 (平成12)	17	6.7	231	90.4	164	64.2	5	2.0	272	106.4	41	16.0	38	14.9
2005年 (平成17)	18	6.9	244	93.5	174	66.7	6	2.3	325	124.5	37	14.2	40	15.3
2006年 (平成18)	17	6.5	247	94.3	172	65.6	6	2.3	325	124.0	35	13.4	39	14.9
2007年 (平成19)	17	6.5	247	93.8	176	66.8	11	4.7	335	127.2	37	14.1	41	15.6
2008年 (平成20)	17	6.4	250	94.6	181	68.5	12	4.5	351	132.9	44	16.7	42	15.9
2009年 (平成21)	17	6.4	256	96.7	179	67.6	12	4.5	363	137.2	51	19.3	43	16.2
2010年 (平成22)	17	6.4	252	94.9	182	68.5	12	4.5	382	143.8	56	21.1	43	16.2
2011年 (平成23)	16	6.0	250	94.2	182	68.6	13	4.9	413	155.6	58	21.8	37	13.9
2012年 (平成24)	16	6.0	250	94.3	185	69.8	13	4.9	428	161.4	63	23.8	36	13.6

(3) 病床数・人口10万対率（市町別）

市町名 施設名	病 院										一般診療所		計			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率		
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
管内総計	1,478	557.4	677	255.3	90	33.9	0	0	0	0	2,245	846.7	99	37.3	2,344	884.0
鎌倉市	1,353	776.9	580	333.0	90	51.7	0	0	0	0	2,023	1161.6	56	32.2	2,079	1,193.7
聖テレジア病院			143								143					
鎌倉ヒロ病院	49		30								79					
鎌倉病院	30		55								85					
恵風園胃腸病院			51								51					
鈴木病院	54		71								125					
清川病院	89		109								198					
大船中央病院	293										293					
額田記念病院			58								58					
ふれあい鎌倉 ホスピタル	112										112					
林間病院					90						90					
小さき花の園	52										52					
湘南記念病院	100		63								163					
湘南鎌倉総合病院	574										574					
逗子市	36	61.8	97	166.6	0	0	0	0	0	0	133	228.5	43	73.9	176	302.4
逗子病院	36										36					
青木病院			97								97					
葉山町	89	271.5	0	0	0	0	0	0	0	0	89	271.5	0	0	89	271.5
葉山ハートセンター	89										89					

(注) 2009年1月に、佐藤病院はふれあい鎌倉ホスピタルに名称が変更されました。

(4) 病床数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病 院										一般診療所		総 数			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率		
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
1995年 (平成7)	1,879	736.0			124	48.6	54	21.2	30	11.8	2,087	817.4	231	90.5	2,318	908.0
2000年 (平成12)	1,882	736.3			124	48.5	54	21.1			2,060	805.9	257	100.5	2,317	906.5
2005年 (平成17)	1,417	543.0	621	238.0	124	47.5	24	9.2			2,186	837.7	212	81.2	2,398	919.0
2006年 (平成18)	1,410	538.1	635	242.2	90	34.3	24	9.2			2,159	824.0	193	73.7	2,352	897.7
2007年 (平成19)	1,550	588.7	605	229.8	90	34.2					2,245	852.6	170	64.6	2,415	917.2
2008年 (平成20)	1,550	586.8	603	228.3	90	34.1					2,243	849.1	137	51.9	2,380	901.0
2009年 (平成21)	1,505	568.7	651	246.0	90	34.0					2,246	848.7	132	49.9	2,378	898.6
2010年 (平成22)	1,423	535.8	716	269.6	90	33.9					2,229	839.3	111	41.8	2,340	881.1
2011年 (平成23)	1,423	536.0	677	255.0	90	33.9					2,190	824.9	99	37.3	2,289	862.2
2012年 (平成24)	1,478	557.4	677	255.3	90	33.9					2,245	846.7	99	37.3	2,344	884.0

(注) 1999年4月に、管内にあった感染症病床は廃止されました。

(注) 2003年までは、療養病床は一般病床に含まれています。

(注) 2006年10月に、管内にあった結核病床は廃止されました。

(5) 医務関係許可等取扱い件数

	許可申請			届 出			エックス線装置			計
	開設	変更	構造設備使用	開設	変更	休止廃止再開	設置	廃止	変更	
病 院	—	30	18	—	7	—	17	7	11	90
一 般 診 療 所	6	7	1	15	37	17	12	15	8	118
歯 科 診 療 所	1	1	—	8	16	5	17	9	4	61
助 産 所	—	—	—	—	—	—	/	/	/	0
あんま・はり・きゅう	/	/	/	25	18	11	/	/	/	54
柔 道 整 復	/	/	/	5	20	1	/	/	/	26
歯 科 技 工 所	/	/	/	—	—	—	/	/	/	0
計	7	38	19	53	98	34	46	31	23	349

(6) 立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づき、医療従事者の適正配置、構造設備、防災対策等について立入検査を実施しました。

- ・実施期間 平成23年9月～平成24年2月
- ・実施施設数

	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
病 院	13	2	1	16
有 床 診 療 所	1	1	—	2
人工透析診療所	1	—	—	1
特定眼科診療所	—	—	—	—
計	15	3	1	19

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設及び実施時期

- ◎ 病院 : 病床を20床以上有する医療施設 毎年
- ◎ 有床診療所 : 19床以下の病床を有する医療施設 3年に1回以上
- ◎ 人工透析診療所 : 人工透析設備を有する医療施設 3年に1回以上
- ◎ 特定眼科診療所 : 要綱に定める要件を満たす医療施設 5年に1回以上

(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)

2010(平成22)年12月末現在

市町名	医 師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師		看護師		准看護師	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	437	250.7	163	93.5	588	337.3	49	28.1	52	29.8	1,123	644.2	274	157.2
逗子市	79	135.5	50	85.8	106	181.8	19	32.6	14	24.0	164	281.3	65	111.5
葉山町	37	112.9	16	48.8	17	51.9	8	24.4	0	0.0	118	360.1	16	48.8
計	553	208.4	229	86.3	711	267.9	76	28.6	66	24.9	1405	529.4	355	133.8

市町名	歯科衛生士		歯科技工士	
	数	率	数	率
鎌倉市
逗子市
葉山町
計	196	73.9	34	12.8

(8) 献血数・目標数(市町別)

(単位：人)

市町名	200ml		400ml		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
鎌倉市	79	66	1,131	1,120	1,210	1,186
逗子市	27	3	369	264	396	267
葉山町	5	5	190	192	195	197
計	111	74	1,690	1,576	1,801	1,650

(9) 年次別献血数・目標数

(単位：人)

年次別	200ml		400ml		成分		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
1995年度 (平成7)	2,950	2,283	2,960	2,526	80	52	5,990	4,861
2000年度 (平成12)	660	574	2,632	1,558	—	10	3,292	2,142
2003年度 (平成15)	235	214	2,291	1,499	—	19	2,526	1,732
2004年度 (平成16)	140	234	2,520	1,358	64	25	2,724	1,617
2005年度 (平成17)	103	222	2,379	1,432	59	6	2,541	1,660
2006年度 (平成18)	123	210	2,310	1,679	—	—	2,433	1,889
2007年度 (平成19)	123	155	2,251	1,645	—	—	2,374	1,800
2008年度 (平成20)	92	93	2,586	1,576	—	—	2,678	1,669
2009年度 (平成21)	90	103	2,460	1,564	—	—	2,550	1,667
2010年度 (平成22)	80	78	2,352	1,325	—	—	2,432	1,403
2011年度 (平成23)	111	74	1,690	1,576	—	—	1,801	1,650

6 たばこ対策

(1) 受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等（横須賀市内を含む）

ア 一般県民向け普及啓発の実施

各種広報紙への掲載や駅前等でのチラシ配布、イベント参加等により、一般県民向け普及啓発活動を実施しました。

イ 事業者向け説明会の開催

各種講習会での説明、チラシの配布を実施しました。

・食品衛生責任者講習会 ・海水浴場施設占用手続き説明会等

ウ 事業者向け戸別訪問の実施

物販店、サービス業等商店街を中心に戸別訪問等を行い、条例の実施状況を確認しました。

訪問等件数	3,197件
-------	--------

※ 電話等による確認、再訪問件数を含みます。

エ その他

管内の条例協力店に係るホームページを作成し、条例協力店制度の普及に努めました。

(2) 地域禁煙サポート推進事業

喫煙防止対策を推進するため、禁煙相談、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

ア 禁煙・防煙講演会

対象	回数	参加人員
中学校	5	618
高等学校	10	3,216
その他 (中学校社会見学)	1	28

※ 高等学校は、神奈川力まるごと活用事業によります。

イ 禁煙相談(延べ)

随時相談	電話相談等
5	9

※ 禁煙相談は保健予防課で担当しています。

ウ 会議の開催

地域・職域連携会議において、県のたばこ対策及び当所所管地域の店舗等の取り組み状況等を報告し、関係団体との情報交換を実施しました。

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

思春期の心身の成長と生涯を通じた女性の健康増進を図るため、思春期保健事業及び生涯を通じた女性の保健相談等事業を実施し、また、特定不妊治療費の助成を行いました。

乳幼児を対象とした未熟児訪問指導、養育支援事業（子育て親子支援相談、慢性疾患児教室等）及び小児医療援護等を実施するとともに、母子保健部会において医療機器装着・医療に係わる配慮が必要な子ども達への支援について、情報・意見交換等を行いました。

2 健康増進対策

市町の健康増進事業及び介護予防事業の円滑な推進を図るため、市町ヒアリングを実施しました。

また、健康増進・高齢者保健福祉部会を三浦半島地域・職域連携推進会議と合同開催しました。

がん検診受診率向上のため、市や民間企業等と協働して、「がん検診普及セミナー」を実施しました。

3 栄養・食生活対策

地域での栄養・食生活改善を効果的に推進するため、食生活対策部会を開催し、管内の関係機関や市町と地域の健康課題を情報共有し、地域における長期療養者等への一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示の推進に向け、普及啓発講習会や相談、買取調査、栄養表示状況調査を実施しました。また、専門的栄養相談や栄養・食生活支援担当者研修を実施しました。

4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、関連する事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会の位置づけで歯科保健部会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。

また、むし歯や歯周疾患の予防として、重度むし歯のリスク要因を有する幼児に対する重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業、障害児及び障害者地域作業所等の利用者を対象にした障害児者等歯科保健事業、妊婦を主な対象とした歯周疾患予防対策事業を行うとともに、歯の健康づくり事業として歯間清掃用具の普及啓発を行いました。

新規事業として、8020 運動推進員養成研修修了者を対象に、歯及び口腔の健康づくり活動を円滑に展開できるよう、育成研修を開催しました。

5 地域福祉

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、地域福祉コーディネーター事業、成年後見制度普及啓発事業、バリアフリーのまちづくり普及啓

発事業及び横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク形成事業など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行いました。

6 介護保険

介護保険審査会第2介護認定審査部会（審査請求）の運営、介護保険指定事業者に対する実地指導及び介護保険に関する相談対応等を行いました。

7 生活福祉の業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

1 母子保健

(1) 思春期保健事業

思春期に特有の医学的問題、性に関する不安や悩みへの相談や教諭向けの研修会を開催しました。

ア 個別相談

区分	相談方法		相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)									
	電話	面接	本人	父	その他	身性	妊娠	結核	病友	家	学	その他	助言指導	面接	電話	訪問	他機関紹介	受診勧奨	その他						
男	10	0	10	6	3	1	10	2	2	1	1	3	0	0	1	1	11	10	0	0	0	0	0	0	10
女	5	0	5	4	1		5	0	4	0		1	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
計	14	0	15	10	4	1	15	2	6	1	1	9	0	0	1	1	16	15	0	0	0	0	0	0	15

イ 思春期保健連絡会

月日	場所	内容	参加人員
12月6日	鎌倉保健福祉事務所	・情報交換「アレルギー性疾患児への学校への対応」 ・講習会「ぜん息等アレルギー性疾患治療の現状と日常生活における留意点について」 講師 独立行政法人国立病院横浜医療センター 小児科部長 医師 菅井和子氏	17

ウ 健康教育

月日	場所	内容	参加人員
11月1日	鎌倉保健福祉事務所	対象 中学1年生 講演「鎌倉保健福祉事務所の仕事と母性について」 講師 当所 保健師	28

(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

思春期から更年期に至る女性が、心身ともに健康な生活を送れるように、一般相談や専門相談を行いました。

区分	相談方法		相談者(延べ数)		相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)										
	電話	面接	本人	その他	妊娠	避妊	不妊	性	メンタルケア	婦人科	更年期	性感	その他	助言指導	専門相談	電話	訪問	他機関紹介	医療機関	その他					
一般相談(随時)	36	0	0	36	25	11	36	2	4	0	3	6	6	5	0	10	36	24	4	2	0	1	4	1	36
専門相談(6回開設)	0	18	0	18	18	0	18	1	0	0	0	10	6	0	0	1	18	16	0	1	0	0	0	1	18

(3) 特定不妊治療費助成事業

医療保険が適用されず高額の治療費がかかる特定不妊治療を受けた夫婦に対する治療費の助成について申請を受け付けました。

市町名	件数	計
鎌倉市	105 (205)	170 (312)
逗子市	47 (76)	
葉山町	18 (31)	

()内は延件数

(4) 未熟児訪問指導

市町や医療機関から連絡のあった未熟児に保健師が訪問指導を行いました。また、鎌倉市の未熟児訪問指導については、平成19年4月以降出生した未熟児は鎌倉市役所へ権限移譲されました。

ア 未熟児把握数 n *2011（平成23）年度把握数

市町名	1000g未満			1000g～ 1499g			1500g～ 1999g			2000g～ 2499g			2500g以上 の養育医療			計
	市 町 村	医 療 機 関	そ の 他	市 町 村	医 療 機 関	そ の 他	市 町 村	医 療 機 関	そ の 他	市 町 村	医 療 機 関	そ の 他	市 町 村	医 療 機 関	そ の 他	
鎌倉市																0
逗子市	1	1		1			1	2		31	3					40
葉山町							1			13				2		16
計	2			1			4			47			2			56

イ 市町別・出生時体重別未熟児訪問数 *2011（平成23）年度訪問延数

市町名	1000g未満	1000g～ 1499g	1500g～ 1999g	2000g～ 2499g	2500g以上 の養育医療	計
鎌倉市				1		1
逗子市	3		8	89		100
葉山町	1	1	4	46	8	60
計	4	1	12	136	8	161

(5) 小児医療援護

各種小児医療援護制度に基づき、疾病に罹患している子供が早期に適切な治療を受けられるよう医療費の給付事務を行いました。

ア 育成医療給付（事業開始1954（昭和29）年度、2006（平成18）年度 制度改正）

疾病	肢 体 不 自 由	視 覚 障 害	機 能 障 害	聴 覚 障 害	音 言 語 障 害	心 臓 機 能 障 害	腎 臓 機 能 障 害	小 腸 機 能 障 害	肝 臓 機 能 障 害	そ の 他 内 臓 機 能 障 害	免 疫 機 能 障 害	計 （ 人 ）
鎌倉市	—	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	5
逗子市	2	—	—	4	—	—	1	—	—	—	—	7
葉山町	1	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	6
計	3	0	1	12	1	0	1	0	0	0	0	18

イ 小児慢性特定疾患医療給付（事業開始1974（昭和49）年度、2005（平成17）年度 制度改正）

疾病	悪 性 新 生 物	腎 疾 患	ぜ ん そ く	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	異 天 性 代 常	先 天 性 血 液 常	疾 友 病 等 血 液	神 経 ・ 筋 疾 患	疾 慢 性 消 化 器 患	計 （ 人 ）
鎌倉市	24	7	1	14	47	—	10	5	3	6	5	122	
逗子市	7	6	—	10	24	2	4	2	5	4	3	67	
葉山町	5	3	1	4	6	—	2	—	2	—	—	23	
計	36	16	2	28	77	2	16	7	10	10	8	212	

ウ 未熟児養育医療給付（事業開始1958（昭和33）年度）

市町名	1000g 以下	1001g～ 1500g	1501g～ 1800g	1801g～ 2000g	2001g～ 2300g	2301g～ 2500g	2501g 以上	計(人)
鎌倉市	5	3	5	2	—	3	1	19
逗子市	4	—	3	—	1	—	1	9
葉山町	—	—	—	—	—	—	3	3
計	9	3	8	2	1	3	5	31

(6) 養育支援事業

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や教室を行いました。

ア 訪問指導

	未熟児	小児慢性疾患	その他	計
実人数	30	6	27	63
延べ人数	84	9	82	175

イ 養育相談

(ア) 所内指導(電話・面接・文書等)

	未熟児	小児慢性疾患	その他	計
実人数	220	15	23	258
延べ人数	319	21	61	401

(イ) 子育て親子支援相談

<把握動機>

開催回数	来所者数		保健福祉事務所					市 町 村			医療機関	その他
	実人数	人延べ	未熟児	定小疾患特	訪家問庭	その他	計	未熟児	その他	計		
6	51	67	39	0	0	9	48	0	1	1	0	2

<相談目的・処遇内容>

相談目的(延べ数)								処遇(延べ数)							
成長	発達	疾病	栄養	生活	未熟児	その他	計	な問し題	再受診	訪家問庭	確電認話	関医紹療介機	引市継町ぎへ	その他	計
55	53	2	32	1	0	59	202	44	9	4	6	2	2	0	67

ウ 集団指導

(ア) 「小さく生まれた子どものための育児教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月24日	鎌倉保健福祉事務所	・講義「ちいさく生まれたお子さんが健やかに育つために・育児のポイントについて」	三須こどもクリニック院長 三須陽子氏	13
10月26日		・乳幼児期の育児について考えよう 生活、歯、栄養のお話 ・保護者のつどい	当所保健師・歯科医師 ・栄養士	25

(イ) 「ふたごちゃん、みつごちゃん集まれ」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
7月27日	逗子市保健センター	・先輩ママに質問！ ～ふたごちゃん・みつごちゃんの育児のポイント～ ・保護者同士の情報交換・懇談会	先輩ママ、当所保健師・歯科医師・栄養士	33
11月22日	逗子市保健センター	・ふたごちゃん・みつごちゃんのための育児教室、保護者のつどい	当所保健師・歯科医師・歯科衛生士・栄養士	11

(ウ) 「こどものアレルギー教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
1月21日	鎌倉保健 福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「食物アレルギーについて」 ・情報提供「鎌倉市消防における現状の対応」 ・交流会 	神奈川県立こども医療センターアレルギー科医長 高増哲也氏 鎌倉消防署 救急隊長 救急救命士 荒井敏一氏	59

(エ) 「障害児母親教室（たんぼぼ教室）」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
1月30日	葉山町教育 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養について ・お口の手入れと食べ方他について ・指しゃぶり、歯ぎしりについて ・生活リズムについて 	当所保健師・栄養士・歯科衛生士	15

(オ) 「ダウン症児の親子の会（さくらんぼの会）」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月27日	鎌倉保健 福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「食べる機能の発達について・グループ相談」 ・懇談会 	昭和大学歯学部 准教授 弘中祥司氏	23
1月11日	鎌倉保健 福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの就園・就学にむけて～先輩ママのお話～ 	当所保健師・栄養士・歯科衛生士	28

(カ) 「慢性疾患児教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
7月15日	鎌倉保健 福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「病気とともに生活するお子さんの思春期」 	県立金沢養護学校 教諭 麻薙幹彦氏	3

エ 養育困難事例研修会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月29日	鎌倉保健 福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「こどもを虐待から守るために」～家庭訪問・育児相談でのアセスメントやエジンバラ産後うつ病質問票を用いた支援について～ ・グループワーク 	北里大学看護学部 生涯発達看護学 准教授 新井陽子氏	20

(7) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健部会）

医療機器装着児、医療に係わる配慮が必要な子ども達への支援をテーマに、事例を通して関係機関が出来る支援やお互いの役割について学ぶことを目的に情報・意見交換を行いました。

月 日	内 容	出席人員
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器装着児や医療に係わる配慮が必要な子ども達への支援 ・管内の母子保健統計の分析について ・管内の母子保健事業について 	24

(8) 病院との継続看護

退院後も経過を見る必要のある児について、病院から連絡を受け、訪問指導を行いました。

<小児の継続訪問依頼>

把握連絡票	病院	横浜市立大 学附属市民 総合医療セ ンター	日本赤十字 社医療セン ター	その他の 病院※	計
	市町名				
未 熟 児 出 生 連 絡 票	鎌倉市				0
	逗子市	2	2	3	7
	葉山町	1		1	2
	小 計	3	2	4	9
療 育 指 導 連 絡 票	鎌倉市			1	1
	逗子市			1	1
	葉山町				0
	小 計	0	0	2	2
そ の 他	鎌倉市				0
	逗子市				0
	葉山町				0
	小 計	0	0	0	0
計		3	2	6	11

※ 「その他の病院」
 ・横須賀共済病院
 ・横須賀市民病院
 ・藤沢市民病院
 ・県立こども医療セン
 ター
 ・静岡てんかん・神経
 医療センター
 ・東海大学医学部付属
 病院

(9) ぜん息等アレルギー性疾患講習会

独立行政法人環境再生機構・健康増進課・当所と共催し、関係職員を対象に、ぜん息等アレルギー性疾患に関する講習会を開催致しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月29日	鎌倉保健 福祉事務所	ぜん息等アレルギー性疾患治療の現状と日 常生活における留意点について	国立病院機構横浜医 療センター 小児科部長 医師 菅井和子氏	39

(10) 母子保健事業等連絡会

母子保健事業を市町と連携し、事業を円滑に推進するため、定期連絡・情報交換会を行いました。

ア 定期連絡会

月 日	市 町	場 所	内 容	出席人員
7月19日	鎌倉市	鎌倉保健 福祉事務所	・母子保健事業について ・未熟児訪問事業の状況について ・歯科保健事業について ・確認事項について	8
8月1日	逗子市	逗子市役所	・母子保健事業の連絡事項 ・申し合わせ事項について	12
8月17日	葉山町	葉山町役場	・母子保健事業の連絡事項 ・申し合わせ事項について	9
3月5日	鎌倉市	鎌倉保健 福祉事務所	・母子保健事業について ・未熟児訪問事業の状況について ・歯科保健事業について ・確認事項について	8

イ 情報交換会

市 町	回 数
逗子市	12回
葉山町	12回

2 健康増進対策

(1) 健康づくり事業等

乳幼児・学童期の子どもに係わる関係職員を対象に、子どもに多い病気やけが等の知識や応急手当について、講演会を開催しました。

<救急法普及啓発事業>

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月31日	鎌倉保健 福祉事務所	「子どもを事故から守るために」 ～乳幼児・学童期の事故予防について ついて学ぶ～	緑園こどもクリニック 院長 山中龍宏氏	50

(2) がん検診普及啓発セミナー

「がんへの挑戦・10か年戦略」の中間評価における今後の方向性をふまえ、がん検診受診率の向上を目指すため、鎌倉市、アフラック・予防医学協会など民間企業と協働して、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	テーマ・内容	場 所	参加人員
9月24日	健康フェスティバル（逗子市・葉山町・逗葉医師会共催） ・パネル展示やクイズ ・スタンプラリー ・体験（乳がん自己触診モデル、手洗いチェッカー等）	逗子市民交 流センター	228

10月16日	逗子市民まつり（逗子市と共催） ・がん検診受診促進パネル展示 ・乳がんモデルによる自己検診体験 ・アンケート配布 ・がんを防ぐための第12か条クイズ	逗子市第一 運動公園	300
2月21日	講演会「伝えたい事！守りたい命！～がんに負けない人生をおくるために～」 講師 NPO法人がんサーネットジャパン 村上利枝氏	逗子市保健 センター	33

（3）市町村保健サービス評価支援活動

葉山町健康増進計画・食育推進計画策定において、共通認識を持つため研修会等の実施及び住民の健康状況を把握するためのアンケート調査項目の作成にあたり、学識経験者による技術的支援を行いました。

日 時	内 容	講師及び助言者
9月20日	【庁内検討会議】 ・現在の進捗状況と今後の計画について ・アンケート調査について	東海大学大学院医学研究科 准教授 渡辺良久氏
10月21日	【行政関係打合せ】 ・今後の市町村保健サービス評価支援活動の進め方について	

3 栄養・食生活対策

(1) 地域食生活対策基盤整備

地域における長期療養者等への一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

<保健福祉サービス連携調整会議（食生活対策部会）>

月 日	内 容	出席人員
2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における長期療養者の食生活支援方策について ・地域・医療・福祉と連携した栄養管理の推進について ・長期療養者支援のための栄養管理情報の効果的な伝達について 	8

<作業部会>

月 日	内 容	出席人員
9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・療養者の栄養管理および情報伝達の現状・課題 ・療養者の一元的な栄養管理の推進について 	7
11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・長期療養者の一元的な栄養管理の推進について ・栄養管理情報の内容について ・栄養管理情報の伝達について 	5
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・長期療養者の一元的な栄養管理の推進について ・栄養サマリーおよびマニュアルについて ・栄養管理情報の伝達について 	6

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

食生活や生活習慣に起因するところが大きい慢性疾患や、長期療養を必要とする個別性の高い疾患が増加していますが、それらの疾患の重症化を予防し、生活の質の向上をめざした食事療法を実践するための教室や個別相談を行いました。

ア 疾病予防食生活対策事業

<各種疾病別栄養指導教室>

区 分	コース数	延べ回数	延べ人員 (個別指導を含む)
生 活 教 室	1	2	41
難 病 食 生 活 教 室	1	2	19
ダ ウ ン 症 児 教 室	1	2	30
た ん ぼ ぼ 教 室	1	1	18
こ だ も の ア レ ル ギ ー 教 室	1	1	59
多 胎 児 教 室	1	2	44
未 熟 児 教 室	1	1	25
計	7	11	236

<専門栄養相談>

疾 病 別	実 人 員	延 べ 人 員	(再掲)訪問	備 考
脂 質 異 常 症 ・ 肥 満 合 併 症	1	1	0	
腎 臓 疾 患	2	2	0	
ハ イ リ ス ク 児	32	36	3	親子支援相談等
高 齢 者 等 の 低 栄 養	2	2	0	
そ の 他	3	3	0	妊娠期の食生活について
計	40	44	3	

イ 栄養・食生活対策推進事業

(ア) 栄養・食生活支援担当者研修

研修会区分	対 象	月 日	内 容	参加人員
食物アレルギー	学校児童福祉施設、行政等の管理栄養士、関係職員等	8月26日	講演「食物アレルギーを持つ子への対応を考える ～知っておきたい食物依存性運動誘発アレルギー～」 講師 保健福祉局保健医療部医療課 課長（医師）	27
糖尿病	病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、診療所、行政等の管理栄養士、関係	2月15日	講演「最新の糖尿病治療」 講師 高井内科クリニック 院長 高井昌彦氏	34
栄養管理講習会	行政等の管理栄養士、在宅栄養士等	9月15日 12月9日	特定給食施設等種別講習会と同時開催 (下欄(3) 特定給食等指導を参照)	10
地域保健活動推進研修	学校、児童福祉施設、行政職員等、在宅栄養士等	1月30日	講演「家族・暮らしの中にある食育 ～現代家族への支援を考える～」 講師 臨床心理士 室田洋子氏	19

(イ) 連絡会

区 分	対 象	内 容	回数	参加人数
知的障害者施設栄養士連絡会	社会福祉施設栄養士	・災害時の食生活対策について ・調理実習(パッキング)	5	19

ウ 栄養表示適正化推進事業

区 分	集団指導		個別指導 相談件数
	回数	人数	
食品業者等	1	96	3
消費者	3	54	—
給食施設	—	—	—

栄養表示状況等調査	21食品
-----------	------

(3) 特定給食等指導

健康増進法に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員などの健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

<特定給食施設等講習会・種別講習会>

種別区分	月 日	内 容	参加施設数	参加人員
全体講習会	6月27日	「食中毒予防について」 講師 当所 食品衛生監視員 「神奈川のおさかな事情」 講師 水産技術センター主任研究員 臼井一茂氏	96	125
種別講習会	9月15日	「体液を知ろう！ ～シーンに応じた適切な診断と対応～」 講師 保健福祉大学栄養学科 教授 谷口英喜氏	16	24
種別講習会	12月9日	「非常時でも考えたい食事摂取基準をベースにした食のあり方」 講師 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学研究部 食事摂取基準研究室 室長 笠岡（坪山） 宣代氏	24	29

<給食施設個別指導> [対象施設状況一覧]

種別区分	特 定 給 食 施 設						その他の給食施設			対象施設数
	1回100食以上 又は 1日250食以上			1回300食以上 又は 1日750食以上			1回50食以上100食未満 又は 1日100食以上250食未満			
	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	
学 校	2	—	3	14	9	1	1	—	—	30
病 院	8	—	—	2	—	—	6	—	—	16
老人保健施設	5	—	—	—	—	—	3	—	—	8
老人福祉施設	11	—	—	—	—	—	1	3	1	16
児童福祉施設	3	9	3	—	—	—	3	6	4	28
社会福祉施設	—	—	1	—	—	—	—	2	2	5
寄 宿 舎	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
事 業 所	—	2	1	3	—	—	—	2	7	15
そ の 他	2	2	—	—	—	—	—	2	4	10
計	31	13	8	19	9	1	14	15	20	130

(4) 行政栄養士との連携・連絡調整

市町の行政栄養士の相互理解と栄養活動の現状や業務の連携について情報交換をしました。

<行政栄養士連絡会>

月 日	内 容
5月11日	・今年度の栄養・食生活対策事業内容について
7月13日	・特定健診・特定保健指導事業について
9月14日	・食育事業等について
11月16日	・食生活改善推進員の養成及び育成について
1月11日	・地域支援事業について
3月14日	・次年度の栄養・食生活対策事業計画について ・次年度の行政栄養士連絡会計画について

*上記の他に、年間テーマとして各回災害時の食生活支援について取り組みました。

(5) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援を実施しました。

ア 地域栄養士等指導事業

<地域栄養士等指導>

区 分	コース	参加延べ人員	内 容
在宅栄養士研修 (保健衛生研修)	1	7	・効果的なプレゼンテーションについて
臨地実習生 (管理栄養士等)	4	79	・県立保健福祉大学・鎌倉女子大学 ・関東学院大学・相模女子大学

イ 地区組織等の育成

<食生活改善推進団体指導>

指導回数	延べ人員
23	390

4 歯科保健

(1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予防処置者数（延べ人員）			初診者の把握経路				
	初診	再診	計	フッ化物	フッ化ジ アミン銀	計	教室	1.6歳児	2歳児	その他	計
46	201	166	367	251	4	255	48	104	47	2	201

(2) 障害児者等歯科保健事業

心身に障害をもつ幼児を対象に歯科検診・摂食機能発達指導等を、障害者地域作業所の利用者等を対象に歯みがき指導と口腔機能訓練を行いました。

ア 乳幼児

市 町 名	実施回数	受診者数			予 防 処置数	摂食関連 指導数	備 考
		初診	再診	計			
鎌倉市	18	40	85	125	45	0	歯っぴいスマイル相談、子育て親子支援相談、あおぞら園等
逗子市	2	9	11	20	10	9	親子教室等
葉山町	0	0	0	0	0	0	
計	20	49	96	145	55	9	

イ 成人

対 象	実施回数	保健指導者数
障害者地域作業所等	12	83

ウ 健康教育

対 象	実施回数	参加者数	備 考
乳幼児	1	15	たんぼぼ教室
成人	2	21	らく楽の会、カモミール

エ 講習会

摂食機能発達支援のための講習会をダウン症児の親子の会と併催実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加組数
9月27日	ダウン症児によくみられる食べ方、飲み方と摂食機能の発達を促す介助の仕方について	昭和大学歯学部 口腔衛生学教室 准教授 弘中祥司氏	9

(3) 歯周疾患予防対策事業（歯と歯ぐきの検診）

成人の歯周疾患予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周疾患予防の歯みがき実習を行いました。

歯科検診・保健指導

実施回数	受 診 者 数
24	111

(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のQOLの向上をめざし、訪問による検診、摂食指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人員	延 べ 人 員					計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
7	11	—	—	—	—	11

イ 従事回数

歯科医師	歯科衛生士
11	11

ウ 市町別訪問数

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	1	—	1
逗子市	7	—	7
葉山町	3	—	3
計	11	—	11

(5) 保健福祉サービス連携調整会議（歯科保健部会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月 日	内 容	出席人員
2月2日	<ul style="list-style-type: none"> 管内の歯周疾患対策について 歯及び口腔の健康づくり推進条例関連事業について かながわ健康プラン21の歯科保健に関する管内独自目標値の達成状況 	10

(6) 歯科健康教育

実施回数	参加人員	内容件数（複数計上）			
		う蝕予防	歯周疾患予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア
5	95	2	2	5	1

(7) 人材の育成

実施回数	参加人員	内 訳			
		地域歯科保健指導者連絡会	在宅歯科衛生士研修	食べる機能の研修	若宮会健康づくり研修
6	79	22	24	11	22

(8) 歯の健康づくり事業

歯間清掃用具の正しい使用方法等についての普及啓発を行いました。

対象	回数	人員
使用法指導者数	30	232

(9) その他

学生指導人員	電話相談件数	口腔機能の向上に関する相談
60	10	0

(10) 8020運動推進員養成事業

ア 8020運動推進員（健康増進課主催の養成研修修了者）

鎌倉市	逗子市	葉山町
18	18	3

イ 8020運動推進員育成研修

月日	内 容	受講者数
12月13日	1 湘南くち体操普及員による体操の実演と今までの活動について 2 今後の活動や育成研修に求めるものについての話し合い 講師 湘南くち体操普及員 後藤光子氏 中村和子氏	26
2月10日	1 歯及び口腔の健康づくり推進条例について 8020運動推進員の役割 2 各種健口体操をマスターしよう 各種健口体操の意義などを確認しながらの実習 講師 歯科衛生士 遠藤道代氏、当所職員	31
2月17日	1 媒体の効果的な使い方 媒体を使った健口体操普及活動の紹介 2 あいうえお体操かまくらバージョンを作ろう 講師 歯科衛生士 伊東裕子氏	26

参考資料 3 歳児歯科健康診査の結果（市町実施分）

市町名	対 象 数	受 診 数 (率)	有 う 病 蝕 者 数 (率)	う 歯 数			一 人 平 均 う 歯 数	う 蝕 の 型 別 分 類				
				未 処 置 歯 数	処 置 歯 数	計		A型	B型	C1型	C2型	D型 (再掲)
鎌倉市	1,328	1,131 (85.2)	175 (15.5)	381	93	474	0.42	142	30	0	3	14
逗子市	446	408 (91.5)	82 (20.1)	111	25	136	0.33	62	17	0	3	2
葉山町	287	259 (90.2)	33 (12.7)	86	3	89	0.34	27	6	0	0	2
計	2,061	1,798 (87.2)	290 (16.1)	578	121	699	0.39	231	53	0	6	18

(注) う蝕の型別分類

- A 型 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある者
- B 型 上顎前歯部および臼歯部とう蝕がある者
- C1型 下顎前歯部のみとう蝕がある者
- C2型 下顎前歯部と他部位とう蝕がある者
- D 型 6本以上う蝕がある者（神奈川県独自の分類）

5 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている、民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数		
	民生委員 児童委員	主任児童 委員	計
鎌倉市	204	20	224
逗子市	74	6	80
三浦市	83	7	90
葉山町	48	3	51
計	409	36	445

(2) 障害福祉相談員の活動

地域における障害福祉ニーズに対応するため、知事から任命された障害福祉相談員に活動手当を支給しました。また、相談員の資質向上のため、研修会を実施しました。

ア 定数及び活動状況

区分 市町名	定 数	活 動 件 数		
		実 践 活 動	相談・助言活動	計
鎌倉市	6	541	208	749
逗子市	6	906	426	1,332
三浦市	5	351	67	418
葉山町	4	106	9	115
計	21	1,904	710	2,614

イ 研修の状況

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月16日	鎌倉保健福祉事務所	精神障害者相談の基本について	地域生活サポートセンターとらいむ施設長・精神保健福祉士 藤井要子氏	23

(3) 地域福祉コーディネーター事業

社会福祉協議会、地域包括支援センター等の福祉専門職員に対して、地域づくりのキーパーソンとなる専門研修を実施しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月21日	逗子文化プラザ市民交流センター	講義と演習 「地域診断」 講師 市民セクターよこはま第2事業部部長 佐塚玲子氏	25
10月26日		講義と演習 「ネットワーク形成」 講師 市民セクターよこはま第2事業部部長 佐塚玲子氏	18
11月24日	さざなみホール	実践交流会 地域福祉コーディネーターチームによる事例紹介(管内4事例)	54

(4) 成年後見制度普及啓発事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通じた研修会を実施しました。また、市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員	
10月3日	県横須賀合同庁舎	成年後見制度地域研修会（横須賀・三浦圏域）	講師 横浜弁護士会 弁護士 内嶋順一氏	64
		成年後見制度に関する意見交換会（横須賀・三浦圏域）	出席 県地域保健福祉課 管内市町 社会福祉協議会等	17

(5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

ア 葉山福祉まつり

葉山福祉まつりに参加し、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行いました。

月 日	場 所	内 容	配布部数
10月1日	葉山町福祉文化会館	パネルの展示、ブースでの説明及びパンフレット配布等	150

イ 「心のバリアフリー」福祉教育研修会

学校教育と連携して、福祉教育の専門講師による「心のバリアフリー」の出前授業を行いました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月15日	三浦市立名向小学校	「心のバリアフリー」福祉教育実践研修会 講師 元高校教諭「福祉科」・精神保健福祉士 山田さく氏	74

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域的かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業を、県から受託する社会福祉法人「湘南の凧」に対し、圏域自立支援協議会の運営等の事業実施について助言した。

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月20日	逗子市役所	第1回横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	48
10月24日	逗子市役所	第2回横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	44
2月28日	逗子市役所	第3回横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	41

6 介護保険

(1) 介護保険審査会運営事業

保健福祉事務所に設置された介護認定審査部会において、所管する市町村が行った要介護認定・要支援認定の処分に不服があった場合の審査請求について審査します。

なお、平成23年度においては第2介護認定審査部会に対する審査請求は行われませんでした。
(所管地域：横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町)

(2) 介護保険指定事業者指導等事業

介護保険制度の円滑な推進を図るために、県介護保険課、県高齢施設課、各保健福祉事務所と共催で集団指導を行いました。

また、管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、実地指導を行いました。
(所管地域：横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町)

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況

月 日	場 所	参加事業所数(管内)
5月11日 外7日間	鎌倉芸術館 小ホール外	1,212

イ 介護保険事業所実地指導件数

	横須賀市	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
1 指定訪問介護	20	12	5	—	37
2 指定介護予防訪問介護	20	11	5	—	36
3 指定訪問入浴介護	1	—	—	—	1
4 指定介護予防訪問入浴介護	1	—	—	—	1
5 指定訪問看護	2	—	1	—	3
6 指定介護予防訪問看護	2	—	1	—	3
7 指定訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
8 指定介護予防訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
9 指定居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
10 指定介護予防居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
11 指定通所介護	12	2	3	1	18
12 指定介護予防通所介護	12	2	2	1	17
13 指定通所リハビリテーション	—	2	1	—	3
14 指定介護予防通所リハビリテーション	—	2	1	—	3
15 指定短期入所生活介護	5	2	1	1	9
16 指定介護予防短期入所生活介護	5	2	1	1	9
17 指定短期入所療養介護	1	2	1	—	4
18 指定介護予防短期入所療養介護	1	2	1	—	4
19 指定特定施設入居者生活介護	2	1	—	—	3
20 指定介護予防特定施設入居者生活介護	1	1	—	—	2
21 指定福祉用具貸与	2	2	—	—	4
22 指定介護予防福祉用具貸与	2	2	—	—	4
23 指定特定福祉用具販売	2	2	—	—	4
24 指定特定介護予防福祉用具販売	2	2	—	—	4
25 指定居宅介護支援	16	10	8	3	37
26 指定介護老人福祉施設	5	2	1	1	9
27 介護老人保健施設	—	2	1	—	3
28 指定介護療養型医療施設	1	—	—	—	1
計	115	63	33	8	219

7 生活福祉の業務

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2012（平成24）年4月1日現在

区分		総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	出産扶助	葬祭扶助
町名	葉山町	100	87	78	9	16	89	3	—	2
	人員	149	130	120	12	19	122	3	—	2

※ 出産扶助・葬祭扶助については平成23年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2011（平成23）年度

区分	傷世帯主の病	傷世帯員の病	世帯・不離	稼働収入の減少				減年金等	減送金等	消費貯蓄費	その他	計
				失定年	老齢	倒産等	その他					
町名	葉山町	7	—	1	1	1	—	1	5	5	22	

<理由別廃止世帯の状況>

2011（平成23）年度

区分	病世帯の治癒	病世帯員の癒傷	死	失踪	稼働増収	働手加入	年金等の加	引取	増送金	施設入所	法医療負担	転出	その他	計

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2012（平成24）年4月1日現在

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計	
町名	葉山町	49	9	9	19	14	100

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2012（平成24）年4月1日現在

区分	稼働世帯					非稼働世帯	計	
	世帯主が働いている世帯				世帯員稼働			
	常用	日雇	内職	その他				
町名	葉山町	14	0	6	—	2	78	100

オ 医療扶助の状況

2012（平成24）年4月1日現在

区分	入院			入院外			計	
	精神	その他	小計	精神	その他	小計		
町名	葉山町	—	2	2	2	118	120	122

カ 生活保護施設措置状況 2012（平成24）年4月1日現在

区分	救護施設	更生施設	計	
町名	葉山町	2	—	2

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2003年度 (平成15)	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
開 始	9	10	14	16	11	17	18	33	22
廃 止	9	11	12	11	10	7	9	10	15

ク 保護世帯数等の推移(年度平均)

年 度	2003年度 (平成15)	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
世帯数	42	41	40	46	49	53	63	78	92
人 員	71	67	64	69	74	80	94	116	135
保護率 %	2.28	2.12	2.03	2.18	2.33	2.49	2.89	3.45	4.00

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費
葉山町	129,124,446	77,007,234	44,465,386	1,296,868	124,530	1,342,743	367,945	835,500	3,684,240

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、その重度の障害ゆえに生ずる特別の負担の一助として、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	1	—	10

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び寡婦福祉法に基づく母子自立支援員による相談指導や母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、寡婦福祉資金の貸付を行いました。

市町名	区分	技能	就職	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	児童	計
		習得	支度		介護			支度			扶養	
鎌倉市	母子	—	—	—	—	1	14	16	—	—	—	31
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	母子	—	—	1	—	1	20	18	—	—	—	40
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
葉山町	母子	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	4
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	母子	—	—	1	—	2	36	36	—	—	—	75
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

(4) 母子自立支援員の設置

福祉事務所に母子自立支援員を設置し、母子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分	生活一般								計
	住 宅	医療・健康	家庭紛争		就 労	養育費	その他	小 計	
夫等の暴力			その他						
市町名									
葉山町	3	3	3	12	47	8	3	79	

区分	児 童					小 計
	養 育	教 育	非 行	就 職	その他	
市町名						
葉山町	4	2	—	—	2	8

区分	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護										小 計
	母子福祉資金貸付		寡婦福祉資金貸付		公 的 年 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護 税	その他			
市町名											
葉山町	36	41	1	—	—	10	5	—	8	101	

区分	そ の 他						小 計
	売 店	た ば こ 販 売	公 営 住 宅	施 設 利 用	母 子 生 活 支 援 施 設		
市町名							
葉山町	—	—	2	—	—	2	

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
1	2

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）においては、福祉事務所は女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために必要な援護措置をとることとなっており、相談・援助を行いました。

年度	援助内容		
	面接	電話	一時保護
2007（平成19）年度	6	7	—
2008（平成20）年度	7	7	3
2009（平成21）年度	2	12	—
2010（平成22）年度	9	3	3
2011（平成23）年度	11	5	2

第5章 保健予防課

保 健 予 防 課 業 務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

1 結核予防

結核患者の発生届出受理後登録を行い、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。また、医療従事者等に対し、結核に関する知識を深め、早期発見・早期治療を促進するため研修会を行いました。

2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。一方、稀な赤痢・腸管出血性大腸菌感染症（O157）等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族・接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染した方がインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療を受ける場合の医療援護事務を行いました。

3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のために、相談及びHIV抗体検査を実施しました。また、中学生・高校生等の若い世代を中心に、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図りました。

4 難病対策

特定疾患患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に訪問指導を行うほか、講演会及び交流会等を開催しました。また、患者及びその家族の実態に応じた地域の支援体制づくりのための在宅療養支援計画策定・評価委員会を開催しました。

5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務を行うほか、定期健康診断を行いました。

6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、徘徊高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。更に、地域における認知症対策の推進のため、処遇困難事例に関する研修会を開催しました。

7 精神保健福祉

精神疾患の悪化や再発防止を図るため、専門医による定例相談及び福祉職・保健師による随時相談及び集団指導を行いました。また、精神障害者の生活支援、社会復帰の促進に努めるため、関係団体やボランティア等の育成及び活動支援を行いました。そのほか、自殺防止対策の取り組みとして、関係機関や団体との連携を図るため会議や研修会の開催、公用車によるキャンペーンの実施、地域住民や関係者に対しての講演会の開催をしました。

1 結核予防

(1) 定期の健康診断

ア BCG接種者（市町実施分）

市町名	BCG 接種者
鎌倉市	1,089
逗子市	351
葉山町	231
計	1,671

(2) 健康診断

ア 管理検診・接触者健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区分	対象者	受診者			受診率	受診結果		
		保健所	医療機関			要医療	経過観察	異常なし
			自主受診	受診券交付				
管理検診	2	2	—	—	100.0%	—	—	2
接触者 健康診断	138	129	6	14	93.5%	1	—	134

イ エックス線検査実施状況

事業区分	撮影区分	直接撮影 (所内)		間接撮影 (所内)		直接撮影 (検診車)		断層撮影		合計		前年度計	
		人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件
接触者 健康 診断	患者家族接触者健診	73	73	—	—	—	—	—	—	73	73	70	70
	まん延地区検診	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—
	管理検診	2	2	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—
計		75	75	0	0	0	0	0	0	75	75	70	70

ウ 結核患者家庭訪問指導状況

年度	実人員	延べ人員
2007(平成19)年度	39	122
2008(平成20)年度	22	46
2009(平成21)年度	18	35
2010(平成22)年度	26	31
2011(平成23)年度	27	46

(3) 結核医療従事者研修

結核予防思想の普及啓発のため、管内の医療機関担当者等を対象に研修を開催しました。

月日	内容	講師	参加人員
10月12日	誰にでも分かる！肺結核の画像診断 管内の結核患者発生状況	東邦大学医療センター大学病院 放射線科客員教授 佐藤雅史氏	45

(4) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別登録患者数

平成23年12月31日現在

市町別	計	要医療			経過観察	受療状況不明
		入院中	在宅医療	小計		
鎌倉市	52	5	12	17	31	4
逗子市	16	—	2	2	14	—
葉山町	9	1	2	3	6	—
住所不明	0	—	—	0	—	—
計	77	6	16	22	51	4

(イ) 市町別登録患者

平成23年12月31日現在

市町別	計	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性	活動性不明	潜在性結核(別掲)
		登録時肺結核塗抹陽性	登録時肺結核その他の菌陽性	登録時菌陰性その他	小計				
鎌倉市	52	7	4	2	13	1	34	4	6
逗子市	16	1	2	1	4	1	11	—	5
葉山町	9	2	—	—	2	—	7	—	1
住所不明	0	—	—	—	0	—	—	—	—
計	77	10	6	3	19	2	52	4	12

イ 新登録患者数(男女別・年齢別・市町村別)

平成23年1月1日～平成23年12月31日

市町別	性別	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳
鎌倉市	男	—	—	—	—	—	0
	女	—	—	—	—	—	1
逗子市	男	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—
葉山町	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
計	男	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1

市町別	性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
鎌倉市	男	—	2	1	10	13
	女	—	0	—	6	7
逗子市	男	—	1	—	3	5
	女	1	—	1	1	3
葉山町	男	—	—	—	2	2
	女	—	—	—	3	3
計	男	0	3	1	15	20
	女	1	0	1	10	13

(注) 潜在性結核感染症を除く

ウ 結核登録状況の推移

(12月31日現在登録患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2007(平成19)年	4,945	55.5	112	42.4	76	43.8	23	39.2	13	40.7
2008(平成20)年	4,602	51.3	104	39.3	69	39.7	26	44.3	9	27.9
2009(平成21)年	4,602	51.1	67	25.2	44	25.3	19	32.3	4	12.3
2010(平成22)年	4,236	46.8	77	29.0	51	29.3	18	30.9	8	24.4
2011(平成23)年	4,275	47.2	77	29.0	52	29.8	16	27.4	9	27.4

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 結核り患状況の推移

(新登録患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2007(平成19)年	1,654	18.6	61	23.1	44	25.3	13	22.1	4	12.5
2008(平成20)年	1,629	18.2	53	20.0	32	18.4	17	29.0	4	12.4
2009(平成21)年	1,633	18.1	41	15.5	29	16.7	9	15.3	3	9.3
2010(平成22)年	1,577	17.4	43	16.2	26	14.9	11	18.9	6	18.3
2010(平成23)年	1,561	17.2	33	12.4	20	11.5	8	13.7	5	15.2

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

オ 活動性結核有病状況の推移

(12月31日現在活動性結核患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
2007(平成19)年	1,459	16.4	37	14.0	22	12.6	10	17.1	5	15.7
2008(平成20)年	1,386	15.4	39	14.7	24	13.8	13	22.1	2	6.2
2009(平成21)年	1,470	16.3	30	11.3	21	12.1	6	10.2	3	9.3
2010(平成22)年	1,350	14.9	32	12.1	19	10.9	7	12.0	6	18.3
2010(平成23)年	1,310	14.5	21	7.9	14	8.0	5	8.6	2	6.1

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

カ 平均結核り病期間の推移 (有病率/り患率)

年	神奈川県	管内
2007(平成19)年	0.88	0.60
2008(平成20)年	1.06	0.73
2009(平成21)年	0.90	0.70
2010(平成22)年	0.86	0.75
2010(平成23)年	0.84	0.64

単位：年

(5) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

ア 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

平成23年1月1日～平成23年12月31日

区分	20条入院勧告	37条の2	保険内訳						
			被用者保険		国民健康保険		高齢医療	生活保護	その他
			本人	家族	一般	退職本人・家族			
申請件数(計)		57	16	1	10	0	27	3	0
医療内容合格		57	16	1	10	0	27	3	0
公費負担承認		57	16	1	10	0	27	3	0
公費負担不承認		0	0	0	0	0	0	0	0
入院勧告件数	15								
入院延長	16								

2 感染症予防

(1) 全数把握対象疾患情報（平成23年1月1日～平成23年12月31日）（※ 結核は除く）

ア 発生状況

類 型	疾 患 名	発生届 件数	確定 患者数	海外渡航先
三 類	細菌性赤痢	1	1	インド
	腸管出血性大腸菌感染症	6	6	—
	パラチフス	2	2	インド, ミャンマー
四 類	A型肝炎	2	2	インド, シンガポール
	デング熱	3	3	インドネシア, シンガポールとタイ, フィリピン
	レジオネラ症	4	4	—
五 類	アメーバ赤痢	2	2	—
	後天性免疫不全症候群	1	1	—
	ジアルジア症	1	1	ネパール
	梅毒	1	1	中華人民共和国
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	—
	風疹	4	4	—
	麻疹	5	2	—

イ 患者・接触者疫学調査実施状況

類 型	疾 患 名	調査数	接触者数	検査人数	保菌者数	海外渡航先
三類	細菌性赤痢	1	5	6	1	インド
	腸管出血性大腸菌感染症	7	5	9	6	—
		1	11	8	0	韓国（修学旅行）
		2	3	—	—	ハワイ
	パラチフス	1	3	3	1	インド
四類	デング熱	1	1	—	—	シンガポールとタイ
五類	麻疹	5	—	5	2	—
	風疹（麻疹陰性による検査診断）	—	—	3	2	—

(2) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施 設	2010(平成22) 年度					2011(平成23) 年度				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数
保 育 所	—	—	—	—	—	2	—	—	9	54
幼 稚 園	12	2	2	8	156	16	2	3	13	191
小 学 校	67	—	10	75	803	76	—	4	128	1,258
中 学 校	10	—	1	14	87	19	—	5	28	316
高 校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	1	—	—	1	6	—	—	—	—	—
計	90	2	13	98	1,052	113	2	12	178	1,819

(3) 感染症予防普及事業（健康教育等）

日時	依頼機関	内容	対象	参加者数	場所
7月13日	湘南グリーン介護老人保健施設葉山	感染症予防	職員	27	湘南グリーン介護老人保健施設葉山
7月15日	愛コープ鎌倉	感染症予防	職員	17	鎌倉市福祉センター
8月18日	鶴岡八幡宮（鶴の子会）	手洗いの実習	小学生	93	鶴岡八幡宮

(4) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区分	2008(平成20)年度		2009(平成21)年度		2010(平成22)年度		2011(平成23)年度	
	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行
C型肝炎	162	5	50	1	25	0	9	0
B型肝炎	153	4	48	1	25	0	9	0

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

区分		年度	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
インターフェロン治療	申請者数		88	51	54	42
	承認数		87	49	54	39
	不承認数		1	2	0	3
核酸アナログ製剤治療	申請者数		/		60	71
	承認数				60	71
	不承認数				0	0

※ 平成20年4月からインターフェロン治療等に対する医療費助成制度が開始され、平成22年4月から核酸アナログ製剤治療も助成対象に追加されました。

3 エイズ予防

エイズウイルスの感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

区 分	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
相 談	243	186	276	318	351	237	174	171
検 査	66	62	84	92	117	77	66	57

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	0	11	10	5	2	1	0	29
女	2	8	5	5	4	4	0	28

ウ エイズ即日検査（再掲）

月 日	受検者数	
12月12日	9	秋のレッドリボン月間に伴い、即日検査を実施しました。

(2) エイズ予防普及事業

ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会

月 日	実施校名	対象	受講者数
6月10日	県立逗葉高等学校	1年生	240
6月29日	北鎌倉女子学園高等学校	1年生	176
7月19日	県立七里ガ浜高等学校	1年生	280
12月1日	県立逗子高等学校	1年生	239
2月22日	逗子市立沼間中学校	3年生	87
2月22日	鎌倉市立第二中学校	3年生	45
2月28日	鎌倉市立岩瀬中学校	3年生	146
3月2日	逗子市立逗子中学校	3年生	125

イ 地域エイズ予防啓発事業

月 日	実施事業及び内容	実施場所	参加人数
7月7日	青少年健全育成推進街頭キャンペーン	J R 鎌倉駅及び大船駅	1,000
10月2日	「葉山町福祉まつり」にて予防啓発	葉山町福祉文化会館	100

4 難病対策

原因不明あるいは治療方法が未確立の特定疾患患者に対し、医療給付申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定疾患医療費給付

	鎌倉市			逗子市			葉山町			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 ベーチェット病	14	13	27	3	7	10	1	3	4	18	23	41
2 多発性硬化症	3	12	15	1	7	8	2	2	4	6	21	27
3 重症筋無力症	15	13	28	3	8	11	5	2	7	23	23	46
4 全身性エリテマトーデス	6	70	76	6	24	30	2	11	13	14	105	119
5 スモン	—	2	2	—	—	0	—	—	0	0	2	2
6 再生不良性貧血	4	9	13	4	4	8	1	—	1	9	13	22
7 サルコイドーシス	5	17	22	2	5	7	1	2	3	8	24	32
8 筋萎縮性側索硬化症	8	3	11	5	2	7	—	—	0	13	5	18
9 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	10	61	71	1	27	28	5	9	14	16	97	113
10 特発性血小板減少性紫斑病	5	14	19	5	7	12	2	7	9	12	28	40
11 結節性動脈周囲炎	4	7	11	1	6	7	—	2	2	5	15	20
12 潰瘍性大腸炎	87	121	208	32	48	80	28	17	45	147	186	333
13 大動脈炎症候群	—	7	7	—	2	2	—	1	1	0	10	10
14 ビュルガー病	3	2	5	1	—	1	1	—	1	5	2	7
15 天疱瘡	3	6	9	2	2	4	—	3	3	5	11	16
16 脊髄小脳変性症	16	9	25	6	8	14	3	5	8	25	22	47
17 クロウン病	39	13	52	12	6	18	4	4	8	55	23	78
18 難治性肝炎のうち劇症肝炎	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
19 悪性関節リウマチ	5	10	15	—	6	6	—	3	3	5	19	24
20 パーキンソン病関連疾患	98	144	242	24	35	59	16	18	34	138	197	335
21 アミロイドーシス	1	—	1	—	—	0	—	1	1	1	1	2
22 後縦靭帯骨化症	29	11	40	12	9	21	4	5	9	45	25	70
23 ハンチントン病	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
24 モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	6	9	15	1	2	3	—	1	1	7	12	19
25 ウェゲナー肉芽腫症	2	1	3	1	1	2	—	1	1	3	3	6
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28	9	37	6	—	6	4	—	4	38	9	47
27 多系統萎縮症	16	10	26	2	3	5	—	—	0	18	13	31
28 表皮水疱症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
29 膿疱性乾癬	—	2	2	1	—	1	—	—	0	1	2	3
30 広範脊柱管狭窄症	2	1	3	2	3	5	3	—	3	7	4	11
31 原発性胆汁性肝硬変	3	25	28	—	6	6	1	6	7	4	37	41
32 重症急性膵炎	3	1	4	—	—	0	—	—	0	3	1	4
33 特発性大腿骨頭壊死症	4	14	18	5	6	11	2	3	5	11	23	34
34 混合性結合組織病	1	14	15	—	3	3	—	3	3	1	20	21
35 原発性免疫不全症候群	2	1	3	—	—	0	—	—	0	2	1	3
36 特発性間質性肺炎	6	4	10	3	1	4	3	1	4	12	6	18
37 網膜色素変性症	16	26	42	8	10	18	4	1	5	28	37	65
38 プリオン病	—	—	0	—	1	1	—	—	0	0	1	1
39 肺動脈性肺高血圧症	2	—	2	—	—	0	—	—	0	2	0	2
40 神経線維腫症	1	2	3	1	1	2	—	1	1	2	4	6
41 亜急性硬化性全脳炎	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
42 バッド・キアリ症候群	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
43 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	5	6	—	1	1	—	—	0	1	6	7
44 ライソゾーム病	3	—	3	—	—	0	—	—	0	3	0	3
45 副腎白質ジストロフィー	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
46 家族性高コレステロール血症	—	—	0	—	1	1	—	—	0	0	1	1
47 脊髄性筋萎縮症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
48 球脊髄性筋萎縮症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
50 肥大型心筋症	1	—	1	1	1	2	—	—	0	2	1	3
51 拘束型心筋症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
52 ミトコンドリア病	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
53 リンパ管筋腫症	—	—	0	—	1	1	—	—	0	0	1	1
54 重症多形滲出性紅斑	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
55 黄色靭帯骨化症	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
56 間脳下垂体機能障害	12	14	26	—	2	2	1	1	2	13	17	30
計	468	682	1150	155	256	411	93	113	206	716	1,051	1,767

(2) 相談

区 分	面接	電話	文書	計
件 数	46	46	1	93

(3) 訪問指導

区 分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件 数	—	—	—	—	—	—	42	57	—	—	42	57

(4) 医療相談等

区 分	回数	対象疾患	内 容	講師等	参加人員
講演会	2	脊髄小脳変性症	・症候群としての脊髄小脳変性症～多系統萎縮症を含めて、あなたの病気は？～	山手訪問診療所 医師 岩淵潔氏	24
		強皮症	・強皮症とのつきあい方～症状と治療～	横浜市立大学附属病院 医師 井畑淳氏	31
相談会	24	全疾患	・療養生活について	保健師	36
患者・家族の交流会 (らく楽の会)	12	全疾患	・体操、レクリエーション ・絵手紙 ・音楽会 ・大道芸 ・書道 ・健康づくり	スポーツプログラマー 橘高靖子氏 美術教師 松浦みどり氏 ハメル会フィーリング 赤羽宏之氏 大道芸人 長雄廉治氏 書道講師 佐藤裕子氏 当所歯科医師、歯科衛生士、栄養士、保健師	87

(5) 訪問相談

看護師による訪問相談を行いました。

対象者数	延べ数
5	12

(6) 難病患者等ホームヘルパー養成研修

()は当所内訳

月 日	内 容	講 師	参加人員
9月8日	・難病の保健医療福祉制度 ・難病の基礎知識(その1) ・難病の基礎知識(その2)	小田原保健福祉事務所保健師 湘南鎌倉総合病院 川田純也氏 平塚看護専門学校 稲生和子氏	99 (32)

(茅ヶ崎保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所、平塚保健福祉事務所、三崎保健福祉事務所と共催で実施)

(7) 在宅療養支援計画策定・評価事業

月 日	内 容	出席人員
2月23日	・難病療養者災害時緊急対応シミュレーションのその後の状況 ・逗子市、葉山町の災害時要援護者対策について紹介 ・災害時要援護者支援にむけての意見交換	16

(8) 健康教育

月 日	内 容	場 所	参加人員
8月12日	難病・特定疾患について	鎌倉市福祉センター	17

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被爆者健康手帳	214	63	21	298
第一種健康診断受診者証	1	1	—	2
第二種健康診断受診者証	4	2	—	6
被爆者のこども健康診断受診証	158	61	18	237
計	377	127	39	543

(2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2009(平成21)年度計	9	—	2	11
2010(平成22)年度計	6	1	3	10
2011年度 (平成23)	第1回 5月	—	2	4
	第2回11月	—	2	6
	計	—	4	10

6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域支援事業を実施しました。

(1) 認知症患者の状況

認知症患者数（当所把握数）

市町名	年 齢					計
	60歳代以下	70歳代	80歳代	90歳代	不明	
鎌倉市	3	23	41	10	5	82
逗子市	1	4	14	—	—	19
葉山町	2	1	2	—	—	5
計	6	28	57	10	5	106

(2) 認知症相談

認知症についての相談を面接や電話にて行いました。

ア 相談内容

区 分	件 数	内 容（延べ件数）						
		疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	介護保険サービス	その他
精神科医の定例相談	30	27	20	21	20	0	2	2
保健師等の随時相談	393	222	65	128	246	40	65	10
計	423	249	85	149	266	40	67	12

イ 相談対象と方法

区 分	件 数	対 象		方 法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	30	29	1		14	16	—
随時相談	393	106	287	377	16	—	—
計	423	135	288	377	30	16	0

(3) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

ア 性別

市町名	男		女		計	
	実 数	延べ数	実 数	延べ数	実 数	延べ数
鎌倉市	5	16	13	44	18	60
逗子市	1	0	2	0	3	0
葉山町	0	0	0	0	0	0
計	6	16	15	44	21	60

イ 年齢別

市町名	60歳代以下	70歳代	80歳代	90歳代	計
鎌倉市	0	2	12	4	18
逗子市	0	2	1	0	3
葉山町	0	0	0	0	0
計	0	4	13	4	21

(4) 処遇困難事例検討事業

高齢者の尊厳が尊重される社会の実現に向け、認知症や高齢者虐待についての理解を深め、必要な体制が整備されるよう、研修会や事例検討会等を実施しました。

ア 研修会及び講演会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
2月1日	鎌倉商工会議所	認知症対応セミナー 「認知症と高齢者の精神疾患についての理解」	林間病院 院長 岡田昇氏	67
3月6日	鎌倉保健福祉事務所	高齢者虐待対応セミナー 「高齢者虐待の早期発見と判断・対応について～事例を通して学ぶ～」	日本高齢者虐待防止センター 事務局長 梶川義人氏	46

イ 事例検討会

月 日	場 所	内 容	助 言 者	参加人員
3回	各機関	関係機関の依頼に応じて参加(高齢者虐待を含む)	なし	37(延べ)

ウ ネットワーク整備の検討

月 日	場 所	内 容	参加人員
8月24日	横浜市金沢区役所	「高齢者虐待予防事業市町村連絡会」金沢区と近隣の鎌倉管内市町及び横須賀市の担当者との連絡、連携を目的とし金沢区福祉保健センター主催	17

(5) 地域支援

ア 認知症の方を抱える家族・一般住民に対し、認知症の理解と介護について、講座等を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月4日	逗子市高齢者センター	テーマ「みんなで学ぼう認知症にならないために」逗子市老人クラブ会員 当所保健師が講師	50

イ 認知症の方と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、保健福祉関係機関が連携し、地域単位での支援体制の構築を検討いたしました。鎌倉市が主催する「認知症地域支援フォーラム」に当所は共催として協力いたしました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
1月4日	鎌倉市福祉センター	テーマ「認知症になってもその人らしく暮らすために」講師：認知症介護研究・研修センター 研究部副部長 永田久美子氏	128

ア 認知症の方を支える家族会（自主グループ）への支援を行いました。

場 所	内 容
鎌倉市福祉センター	かまくらりんどうの会総会及び新年会 保健福祉部長・認知症担当者の3名が出席

ウ 鎌倉・逗子・葉山徘徊高齢者SOSネットワークにより徘徊により行方不明となった方の早期発見・保護のため関係機関に連絡調整を行いました。

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町	管轄外	計
家族等からSOSネットに検索依頼件数	2	1	0	61	64
身元不明の高齢者等が保護された件数	2	1	0	53	56

(6) 健康教育

月 日	内 容	場 所	参加人員
11月4日	みんなで学ぼう 認知症にならないために	逗子市高齢者センター	50

7 精神保健福祉

(1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、福祉職、保健師等が相談・訪問を行いました。

ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	466	1,240	306	160	774
訪問	92	212	15	77	120

注1) 保健所で初めて取り扱ったケース

注2) 過去に把握したが22年度に再度相談・訪問したケース

イ 相談（性別・年齢別）

区分	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	不明
実人員	217	245	4	0	14	30	73	69	36	28	130	86
延べ人員	543	693	4	0	26	64	157	194	103	157	426	113

ウ 訪問（性別・年齢別）

区分	性別			年齢								
	男	女	不明	0～10歳	10～20歳	20～30歳	30～40歳	40～50歳	50～60歳	60～65歳	66歳以上	不明
実人員	50	42	0	—	1	4	8	14	12	8	41	4
延べ人員	106	106	0	—	2	7	29	35	26	17	92	4

エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	病院	市町村	その他
相談	466	21	29	416
訪問	92	4	7	81

オ 相談・訪問問題別

区分	実人員	治療の問題	生活上の問題	社会復帰の問題	その他
相談	466	149	223	18	76
訪問	92	27	51	2	12

カ 被面接者

区分	本人	家族	関係者	その他	計
相談	343	514	173	281	1,311
訪問	98	121	37	73	329

キ 診断名

区 分	実 人 員	失 調 症 合	認 知 症	う そ つ 病 う	て ん か ん	ル ア 依 存 し	薬 物 依 存	人 成 格 障 害 の	関 連 障 害 ス	精 神 障 害 の	診 断 保 留	認 異 め 常 ず と	未 受 診	不 明
相 談	466	82	45	40	4	18	2	1	9	14	5	5	82	159
訪 問	92	21	18	7	5	1	0	1	0	2	0	0	13	24

ク 担当者

区 分	医 師	福 祉 職	保 健 師	そ の 他	延 件 数
相 談	57	456	786	19	1,318
訪 問	31	85	131	52	299

(2) 教育広報活動

ア ハンドブックの作成

精神障害者のための制度と福祉サービスのハンドブックを作成し、当事者・家族・関係機関に配布しました。

イ 精神保健福祉協力者の育成指導

一般市民を対象にした精神保健福祉ボランティア講座の運営委員会に出席し、企画・実施・講義等の支援を行いました。

(ア) ボランティア講座

月 日	対 象	内 容	参 加 人 員
10月～3月	一般市民	鎌倉市精神保健福祉ボランティア講座 (全9回)	15

ウ 講師派遣

関係職員の研修、ボランティア講座等で講義を行いました。

内 容	回 数
精神保健ボランティア講座(鎌倉市、葉山町)	2

(3) 団体支援及び連携

地域作業所など生活支援事業所の連絡会に参加し、断酒会（鎌倉返子断酒会）の例会活動等に対して、助言を行いました。

区 分	回数	内 容
断酒会	1	研修会
障害者クラブ	1	若竹会
その他	2	神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会鎌倉逗葉ブロック

(4) 社会復帰の支援

ア 集団指導活動

統合失調症の家族を対象に、地域生活サポートセンターとらいむと共催で家族講座を実施した他、アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

区 分	回 数	参 加 人 員		内 容
		実 人 員	延 べ 人 員	
家 族 講 座	2	10	13	・ 講話「統合失調症について」 講師 金沢文庫エルクリニック 医師 藤原修一郎氏
				・ 講話「当事者の地域生活・地域の支援について」 講師 地域生活サポートセンターとらいむ 藤井要子氏
アルコール教室	8	13	34	・ アルコール依存症の学習、グループミーティング
計	10	23	47	

イ 普及啓発

統合失調症の当事者や家族が、病気と上手につき合いながら地域で生活していくため、病気について知り、体験談を聞く機会として、地域生活サポートセンターとらいむ・家族会と共催で精神保健福祉セミナーを実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
12月20日	・ 講演「病気とのつき合い方について」	福井記念病院 精神科医 山崎竜司氏	31
1月13日	・ 講演「自分らしく、生き生きと」	当事者	46

(5) 医療保護関係事務

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神病院の实地指導・審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請（23条）及び通報（24条、26条の2）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件 数	指 定 医 診 察 結 果				不実施	
		要 措 置	不 要 措 置			受療 指導等	その他
			入 院	入 院 外	医 療 不 要		
23条	1	—	—	—	—	—	1
24条	11	8	1	1	—	0	1
26条の2	0	—	—	—	—	—	—
計	12	8	1	1	0	0	2

イ 精神病院实地指導・实地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神病院に対する实地指導

箇所数	施設名
1	林間病院

（イ）精神保健福祉法に基づく实地審査（措置入院者・医療保護入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	審 査 結 果					
	医 療 保 護 入 院			任 意 入 院		
	継 続	移 行	入 院 不 要	継 続	移 行	入 院 不 要
林間病院	2	—	—	1	—	—

ウ その他医療保護事務

区 分	件 数
入退院届（法33の1他）	87
定期病状報告（法38条の2）	13

(6) 会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について検討しました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉部会）

地域の自殺に関する統計を出し、自殺予防について検討しました。

月 日	内 容	出席人員
3月7日	・地域で取り組む自殺対策 ・地域自殺対策検討	20

(ア) ワーキング

内 容	回数
地域自殺対策	1

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席延人員
5月30日 10月7日 2月28日	市町：精神保健福祉担当者 管内相談支援事業所 居宅介護支援事業所等	・各機関の精神保健福祉業務 の状況、情報交換	27

ウ 横須賀三浦・藤沢地域精神科病院関係機関連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席延人員
9月8日 2月10日	市町：精神保健福祉担当者 精神科病院	・地域生活の継続のために～ 事例をとおしてマネジメント を考える	33

エ ケース会議

具体的な事例を通し、関係者間で検討を行いました。

回 数	出 席 者	出 席 延 人 員
3	市町（市民健康課・福祉課等担当者）、 相談支援事業所等 助言者：精神保健福祉センター医師、福祉職	27

オ 事例検討

関係機関の依頼等により会議に参加しました。

回数	出 席 者
14	事業所、医療機関、市町（障害者、高齢者担当等）

カ 市町等主催の会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市自立支援協議会	2
鎌倉市要保護児童ネットワーク会議	1
鎌倉市成年後見会議	1

(7) 社会的ひきこもり支援事業

狭義の精神疾患が原因ではない「社会的ひきこもり」を対象に支援事業を実施しました。

ア 普及啓発

<講演会> (藤沢市保健所、平塚保健福祉事務所、茅ヶ崎保健福祉事務所、精神保健福祉センター、青少年センターと共催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月26日 7月 2日 7月 9日	藤沢市保健所	・ひきこもりを考える 家族セミナー	精神科医 増田直樹氏 臨床心理士 大多和二郎氏 「アンダー・ジューマン・よこすか」 島田徳隆氏 ひきこもり体験者	225

イ 集団指導

ひきこもりの当事者を抱える家族の話合いの場として、家族教室を開催しました。

区 分	回数	参加人員	
		実人員	延べ人員
家族教室	9	20	85

ウ 地域ひきこもり支援企画委員会

ひきこもりの支援について、関係者・関係機関との連携を深め、家族教室から自主的な活動ができるよう検討するため委員会を実施しました。

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
5月18日 12月21日	遊悠楽舎代表 (フリースペース)、 カマクラ「風の谷」 (不登校親の会)、 青少年センター、精神保健福祉センター	・前年度までのひきこもり 支援事業報告 ・家族教室の今後の方向性の 検討、交流会についての企 画検討	10

(8) こころといのちのサポート事業

ア いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

地域の自殺対策の一環として、実行委員会を開催し、関係機関とのつながりを強化し、講演会を開催し普及啓発に努めました。

実行委員：鎌倉市・逗子市・葉山町・地域生活サポートセンターとらいむ・鎌倉市社会福祉協議会・逗子市社会福祉協議会・葉山町社会福祉協議会
実行委員会は10回開催しました。

<講演会>

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月19日	逗子市文化プラザ なぎさホール	講演会 「こども・生きる・つながる」	教育評論家 尾木直樹氏	427
10月26日	鎌倉市生涯福祉センター	落語 講演会「思春期のこどもとのつきあいかた」	落語家 三遊亭歌奴氏 自殺予防総合対策センター 研究員 勝又陽太郎氏	111

イ 普及啓発

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月12日	鎌倉女子大学岩瀬 キャンパス	ストレスチェック（こころの体温計）とグッズ配布	130

ウ 研修会

事業所の事業主・安全衛生管理者・労務担当者等を対象に、職域におけるメンタルヘルス対策の研修会を開催しました。また、管内支援機関職員を対象にゲートキーパーの研修を開催しました。

(ア) 横須賀労働基準監督署管内対象（主催：精神保健福祉センター、当所は共催）

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月28日	横須賀市生涯学習セ ンター	・講演「職場復帰（復職支 援）について」	NPO法人MDA（うつ、気分障害 協会）代表 山口律子氏	95

(イ) こころサポーター研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
3月22日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「大切な人を亡くし た体験から伝えたいこと」	NPO法人全国自死遺族総合支援 センター事務局長 南部節子氏	16

エ うつ病家族セミナー

うつ病で治療中の家族を対象に、うつ病の正しい知識を深めるとともに再発予防ならびに家族の対応について理解することを目的に開催しました。（精神保健福祉センター主催、当所は共催）

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月14日 11月21日 12月1日	鎌倉保健福祉事務所	講演 ・うつ病を知ろう～うつ病 の概論 ・うつ病の治療とは？～治 療と薬の話 ・家族はどう接したらいい の？～具体的な対応につい て	林間病院副院長 大山育男氏 汐入メンタルクリニック院長 阿瀬川孝治氏 NPO法人MDA（うつ、気分障害 協会）代表 山口律子氏	43

第6章 環境衛生課

環 境 衛 生 課 業 務

安全で快適な生活環境を確保するため、環境衛生営業施設、水浴場、特定建築物、水道施設等の衛生確保対策及び動物保護対策を推進しています。

また、医薬品等の安全性の確保、毒物劇物による危害防止に努めています。

1 環境衛生営業施設等の衛生確保

理容・美容所、旅館等環境衛生関係営業6業種及び水浴場等の許認可、監視指導を実施するとともに、営業者による自主管理の推進を指導し、また、旅館、理容所及び水浴場関係者に対して衛生講習会を実施しました。さらに、海水浴場の水質検査を実施しました。

2 生活環境施設等の衛生確保

浄化槽の維持管理指導、多数の人が利用する大規模建築物内の空気環境の衛生管理指導や専用水道、簡易専用水道、小規模受水槽水道の維持管理指導等を実施しました。

また、室内環境に起因する健康被害（アレルギー、シックハウス症候群）の軽減と未然防止のため、情報提供、個別相談等を実施しました。

3 動物保護対策

犬に係る苦情やこう傷事故の処理を通じて、正しい飼い方の指導を行いました。また、飼養動物等に係わる苦情処理及び相談業務を行いました。

4 医薬品等の安全性確保

薬局、医薬品販売業、医薬品製造業等の監視指導を実施しました。

毒物劇物による危害を防止するため、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者等に対し、毒物劇物の適正な取り扱いを指導しました。

また、薬物乱用防止啓発として、各種啓発資材の配布を行うとともに、関係機関との連絡調整に努めました。

1 環境衛生営業施設等の衛生確保

(1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況

環境衛生関係営業施設の構造設備、衛生措置等について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			許可(確認) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町			
理容所		126	88	27	11	3	1	36
美容所		372	235	104	33	21	14	125
クリーニング所		177	117	44	16	2	9	60
旅館		88	46	6	36	1	3	22
興行場		5	3	1	1	—	—	1
公衆浴場		29	20	5	4	0	0	11
計		797	509	187	101	27	27	255

(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

水浴場、更衣休憩所及びプールの衛生管理と危険防止策について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
水浴場		7	3	1	3	60
更衣休憩所		63	21	26	16	438
プール		31	18	8	5	27
計		101	42	35	24	525

(3) 講習会開催状況

対象者	開催回数	参加人員
水浴場関係営業	3	164
旅館業	2	69
理容所営業	1	93
計	6	326

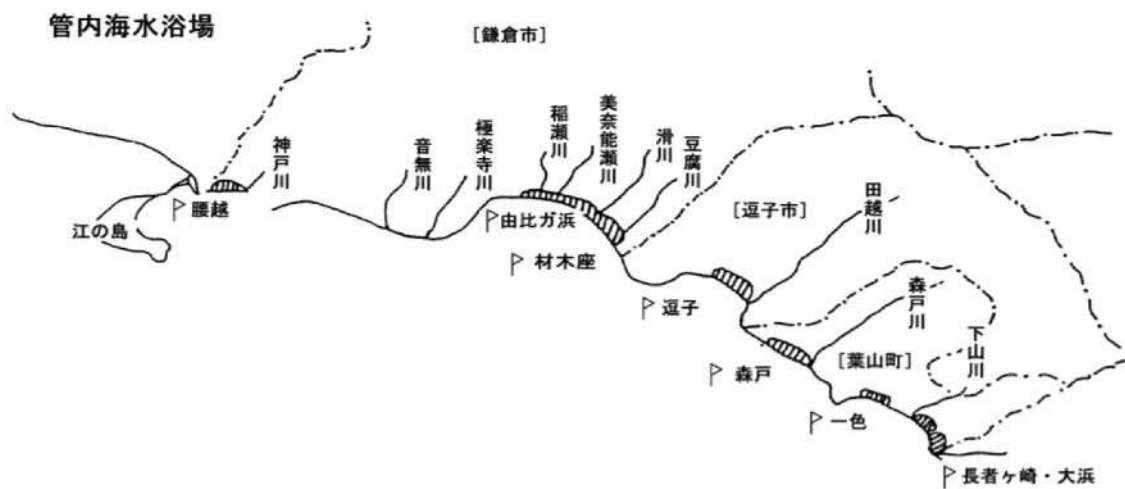
(4) 免許事務取扱い件数

業種	免許申請	書換・訂正	再交付
クリーニング師	1	—	—

(5) 海水浴場の水質検査実施状況

管内7海水浴場（10地点）の水質検査を実施しました。

海水浴場	実施時期	ふん便性大腸菌群数		C O D		透明度	p H	油 膜	判 定	
		(個/100ml)		(mg/ l)						
		MIN~MAX	平均値	MIN~MAX	平均値	(m)	MIN~MAX			
鎌倉	腰越	シーズン前	<2~24	10	1.0~2.5	1.6	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~6	2	2.4~3.9	3.1	1<	8.4~8.6	無	B
	由比ガ浜	シーズン前	<2~26	11	0.9~2.5	1.6	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	2.1~3.2	2.5	1<	8.3~8.6	無	B
	材木座	シーズン前	<2~12	4	1.1~2.2	1.7	1<	8.2~8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	1.5~2.6	2.1	1<	8.3~8.4	無	B
逗子	逗子	シーズン前	<2~24	5	1.0~1.9	1.5	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	2.1~3.1	2.7	1<	8.3~8.5	無	B
葉山	長者ヶ崎・大浜	シーズン前	<2~20	9	1.2~1.7	1.5	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~<2	<2	1.6~1.9	1.8	1<	8.2~8.3	無	AA
	一色	シーズン前	<2~12	5	1.2~1.4	1.3	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~<2	<2	1.6~2.7	2.1	1<	8.2~8.4	無	B
	森戸	シーズン前	10~22	15	1.1~1.7	1.5	1<	8.1~8.2	無	A
		シーズン中	<2~20	8	1.5~1.9	1.7	1<	8.2~8.3	無	A



2 生活環境施設等の衛生確保

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

浄化槽の設置届の受理及び立入検査等を行い、設置者等に対し適正な維持管理指導を実施しました。

ア 市町村別設置基数と監視指導件数

設置基数 (合計)	市町村別設置基数内訳			監視指導件数
	鎌倉市	逗子市	葉山町	
19,971	10,713	489	8,769	29

イ 浄化槽基数の推移 (5年間)

年 度	市町名	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2007 (平成19) 年度		10,747	503	8,838	20,088
2008 (平成20) 年度		10,732	503	8,828	20,063
2009 (平成21) 年度		10,718	502	8,849	20,069
2010 (平成22) 年度		10,721	497	8,816	20,034
2011 (平成23) 年度		10,713	489	8,769	19,971

ウ 大規模浄化槽の監視指導

処理対象人員	基 数	監視指導件数
501～2,000人	3	3
2,001人以上	1	1
計	4	4

エ 浄化槽届出状況

区 分	項 目	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2010 (平成22) 年度末設置数		10,721	497	8,816	20,034
2011 (平成23) 年度設置数		13	0	57	70
2011 (平成23) 年度廃止数		21	8	104	133
2011 (平成23) 年度末設置数		10,713	489	8,769	19,971

(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

保守点検業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
18	6	6

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

特定建築物 (建築延面積3000㎡以上の特定用途に供する建物。学校は同8000㎡以上のもの) の衛生的環境を確保するため、立入検査及び指導を実施しました。

業 種	市町名	施設数	市町村別設置基数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
興 行 場		3	1	1	1	1
集 会 場		3	3	—	—	—
美 術 館		1	—	—	1	1
店 舗		12	9	2	1	8
事 務 所		5	3	1	1	—
学 校		6	4	2	—	2
そ の 他 の 学 校		3	1	—	2	1
旅 館		8	5	—	3	—
遊 技 場		1	1	—	—	—
計		42	27	6	9	13

(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況

衛生管理業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

業種	項目	登録営業所数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
清掃業		3	1	1	1	3
空気環境測定業		1	—	1	—	0
貯水槽清掃業		7	5	2	—	3
ねずみ昆虫等防除業		3	—	3	—	1
総合管理業		1	—	—	1	—
計		15	6	7	2	7

(5) 水道施設数及び監視指導状況

専用水道及び簡易専用水道（受水槽の有効容量が10m³を超える施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
専用水道		15	12	1	2	11
簡易専用水道		390	252	85	53	29
計		405	264	86	55	40

(6) 小規模水道等施設数及び監視指導状況

小規模受水槽水道（受水槽の有効容量が10m³以下の施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
小規模受水槽水道		421	291	70	60	14

(7) 住まいと健康サポートシステムの推進

住環境に起因すると思われる健康被害の改善や発生を防止するため、県民へ住まいや住まい方に関する情報を提供するとともに、個別相談を受け、必要に応じて居住環境調査、室内環境測定を実施しました。

ア 相談処理状況

区分	項目	室内空気環境	昆虫等	その他	計
件数		2	45	28	75

イ 居住環境調査実施状況

区分	項目	実施件数
虫の同定		10

(8) 温泉施設数及び監視指導状況

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
温泉		7	5	1	1	4

(9) 墓地等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	監視指導件数
墓地		518	2
納骨堂		5	—
火葬場		1	1
計		524	3

(10) 苦情・相談等処理状況

区分	項目	浄化槽	ねずみ、昆虫等水道、井戸関係	その他	計	
件数		15	45	35	30	125

3 動物保護対策

(1) 飼えなくなった犬、猫等の引き取り

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	犬	5	0	1	6
	猫	3	1	2	6
	規則で定める動物	—	—	—	0
	計	8	1	3	12

(2) こう傷事故の発生状況

こう傷犬の狂犬病罹患の有無を確認するとともに、事故の再発防止のため、飼い主に対し飼育管理指導を実施しました。

区分	項目	市町別件数内訳			計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	件数	9	4	1	14

(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況

区分	項目	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	負傷猫	失踪保護	その他	計
	件数	3	18	84	10	207	0	322

(参考事項)

市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況

ア 犬の登録頭数

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	登録頭数	11,127	3,860	2,722	17,709

イ 犬の登録頭数の推移

年度	市町名	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2007（平成 19）年度		10,859	3,703	2,521	17,083
2008（平成 20）年度		11,089	3,720	2,524	17,333
2009（平成 21）年度		11,202	3,748	2,612	17,562
2010（平成 22）年度		11,294	3,790	2,608	17,692
2011（平成 23）年度		11,127	3,860	2,722	17,709

ウ 犬の新規登録及び狂犬病予防注射の実施

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	新規登録	774	294	182	1,250
	狂犬病予防注射	8,939	3,179	2,183	14,301

4 医薬品等の安全性確保

(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況

薬局、医薬品販売業及び製造業等に対し、医薬品等の取り扱い・管理状況等について、監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
薬 局			122	84	33	5	63
医薬品販売業	店 舗 販 売		25	18	3	4	14
	卸 売 販 売		3	2	—	1	2
	薬 種 商 販 売		1	—	1	—	—
	特 例 販 売		0	—	—	—	—
	小 計		29	20	4	5	16
薬 局 医 薬 品 製 造 業			5	5	—	—	2
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業			5	5	—	—	2
医 薬 品 等 製 造 業 ・ 製 造 販 売 業			18	11	3	4	2
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 ・ 賃 貸 業			75	49	22	4	49
管 理 医 療 機 器 販 売 ・ 賃 貸 業			435	304	102	29	96
計			689	478	164	47	230

(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数

種別		項目	新 規 許 可 等	許 可 更 新	許 可 証 書 換	許 可 証 再 交 付	変 更 届	廃 止 届	承 認 整 理 届	計
薬 局			9	20	2	—	240	6	—	277
医薬品販売業	店 舗 販 売		6	—	—	—	66	4	—	76
	卸 売 販 売		1	—	—	—	—	—	—	1
	薬 種 商 販 売		—	—	—	—	—	—	—	0
	特 例 販 売		—	—	—	—	—	—	—	0
	小 計		7	0	0	0	66	4	0	77
薬 局 医 薬 品 製 造 業			—	1	—	—	—	—	—	1
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業			—	1	—	—	—	—	—	1
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 ・ 賃 貸 業			9	9	2	—	31	6	—	57
管 理 医 療 機 器 販 売 ・ 賃 貸 業			67	—	—	—	18	59	—	144
計			92	31	4	0	355	75	0	557

(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況

毒物劇物による保健衛生上の危害を防止するため、毒物劇物販売業者、業務上取扱者の監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
毒物劇物販売業	一 般 販 売		52	38	12	2	32
	農 業 用 品 目 販 売		4	3	1	—	1
	特 定 品 目 販 売		1	—	1	—	—
	小 計		57	41	14	2	33
業務上取扱者	電 気 め っ き 業		1	1	—	—	—
	熱 処 理 業		1	1	—	—	—
	小 計		2	2	0	0	0
毒 物 劇 物 製 造 ・ 輸 入 業			4	4	—	—	3
特 定 毒 物 研 究 者			3	3	—	—	—
計			66	50	14	2	36

(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数

種別	項目	新規登録	登録更新	登録票書 書 換	登録票書 再 交 付	取扱責任 者設置届	取扱責任 者変更届	変更届	廃止届	計
		毒物劇物販売業	一般販売	—	12	—	—	—	7	8
農業用品目販売	—		1	—	—	—	1	2	—	4
特定品目販売	—		—	—	—	—	—	—	—	0
小 計	0		13	0	0	0	8	10	4	35
業務上取扱者	電気めっき業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	熱処理業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	13	0	0	0	8	10	4	35

(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況

麻薬業務所に対し、麻薬の適正管理について、監視指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件 数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
麻薬業務所	診療施設（病院）	13	11	2	—	23
	〃（診療所）	106	67	29	10	2
	〃（動物診療所）	34	21	10	3	0
	小 売 業	84	64	15	5	27
	卸 売 業	0	—	—	—	—
	研 究 施 設	6	6	—	—	1
向精神薬研究施設		6	6	—	—	0
計		249	175	56	18	53

(6) 麻薬免許事務等取扱い件数

ア 麻薬取扱者免許関係

免許の別	項目	免 許 申 請			変更届	廃止届	返納届	再交付	計
		新 規	継 続	計					
麻薬研究者		0	5	5	0	1	5	—	11
麻薬管理者		4	24	28	5	2	23	—	58
麻薬施用者		86	197	283	64	32	172	2	553
麻薬小売業者		7	41	48	3	1	42	—	94
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	—	0
計		97	267	364	72	36	242	2	716

イ 麻薬業務所関係

種別	項目	廃棄届	調剤済 廃棄届	所有届	譲渡届	事故届	年間届	計
麻薬診療施設		14	67	2	1	8	150	242
麻薬小売業施設		12	22	1	0	0	80	115
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	0
麻薬研究施設		1	—	—	—	—	5	6
計		27	89	3	1	8	235	363

ウ 向精神薬関係

種別	項目	登録申請	変更届	廃止届	年間届	事故届	計
向精神薬研究施設		—	1	—	5	—	6
診療施設・薬局		—	—	—	—	—	0
計		0	1	0	5	0	6

(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況

覚せい剤取扱者等の指定を受けた者に対し、覚せい剤等の適正管理について、監視指導を実施しました。

指定の別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
覚せい剤研究者		1	1	—	—	—
覚せい剤原料取扱者		1	1	—	—	—
計		2	2	0	0	0

(8) 覚せい剤事務取扱い件数

指定の別	項目	新規申請	継続申請	廃棄届	変更届	廃止届	失効報告	年間届	計
覚せい剤研究者		—	—	—	—	—	—	—	0
覚せい剤原料取扱者		1	—	4	—	—	—	—	5
計		1	0	4	0	0	0	0	5

(9) 薬物乱用防止啓発活動

薬物乱用防止街頭キャンペーン、講演会及び学校等における薬物乱用防止教室を通して、薬物乱用防止の啓発を実施しました。また、関係機関及び団体で構成する地域連絡会を開催し、薬物乱用防止に関する連絡調整を行い、一層の普及啓発に努めました。

ア 啓発キャンペーン

月 日	場 所	内 容
5月3日～5日	湘南国際村	・「湘南国際村フェスティバル2011」にて、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
7月22日	鎌倉・大船駅周辺	・「鎌倉地区社会を明るくする運動」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
7月 7日	鎌倉・大船駅周辺	・「青少年健全育成推進街頭キャンペーン」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
10月23日	鎌倉生涯学習センター	・「くすりと健康フェアかまくら」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布

イ 地域連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
3月13日	鎌倉保健福祉事務所	各機関及び団体における薬物乱用防止活動の状況について	15

ウ 薬物乱用防止研修会

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月16日	鎌倉保健福祉事務所	対象 薬物乱用防止指導員 講話 「薬物乱用の危険性について理解を深めるために」 講師 神奈川県衛生研究所 所員	16

エ 薬物乱用防止教室

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月20日	鎌倉市立腰越中学校	対象 中学3年生 講演 「薬物乱用による被害から身を守るために」 講師 当所 薬事監視員	75
3月12日	北鎌倉女子学園	対象 高校1年生 講演 「薬物乱用による被害から身を守るために」 講師 当所 薬事監視員	184
3月19日	逗子市立久木中学校	対象 中学2年生 講演 「薬物乱用による被害から身を守るために」 講師 当所 薬事監視員	184

第7章 食品衛生課

食 品 衛 生 課 業 務

食品衛生法に基づき、食品関係営業の許認可及び監視指導、食品等の収去検査、食品衛生責任者等に対する講習会を行い、食中毒の予防に努め、食品の安全性確保を図っています。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品衛生法に基づく営業許可(22業種)、県条例に基づく営業許可(3業種)、県条例に基づく報告営業(8業種)及び給食施設について許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。また、調理師免許等の関係事務を行いました。

2 食品等の収去検査

食品、添加物、器具及び容器包装の収去検査において、消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等についての講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例に際し、原因究明のための迅速かつ的確な調査を実施し、食品営業者に対し、適切な措置を講ずるための指導に努めました。

5 食品関係等の苦情処理

消費者等からの食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品営業施設の許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。
また、調理師免許等の関係事務を実施しました。

(1) 許可を要する営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数			許 可 取 扱 数		廃 業 件 数	監 視 指 導 件 数	
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計	継 続			新 規
飲 食 店 営 業		2,066	355	279	2,700	306	231	218	2,941
菓子(パンを含む)製造業		200	38	36	274	26	35	24	318
乳 処 理 業		—	—	—	0	—	—	—	—
特別牛乳搾取処理業		—	—	—	0	—	—	—	—
乳 製 品 製 造 業		—	—	—	0	—	—	—	—
集 乳 業		—	—	—	0	—	—	—	—
魚 介 類 販 売 業		138	42	29	209	23	18	19	245
魚介類競り売り営業		1	1	—	2	—	—	—	1
魚肉練り製品製造業		2	1	—	3	—	—	—	6
食品の冷凍・冷蔵業		—	—	—	0	—	—	—	—
食品の放射線照射業		—	—	—	0	—	—	—	—
缶詰又は瓶詰食品製造業		1	—	1	2	—	1	—	1
喫茶店営業		274	22	28	324	55	26	53	113
あん類製造業		1	—	—	1	—	—	—	7
アイスクリーム類製造業		5	1	1	7	—	1	—	12
乳 類 販 売 業		301	69	40	410	41	30	50	284
食 肉 処 理 業		2	2	—	4	1	—	—	5
食 肉 販 売 業		111	42	22	175	23	10	14	225
食 肉 製 品 製 造 業		2	—	1	3	—	—	—	5
乳酸菌飲料製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
食用油脂製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
マーガリン又はショートニング製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
みそ製造業		1	—	1	2	1	—	—	2
しょう油製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
ソース類製造業		1	—	—	1	—	—	—	1
酒 類 製 造 業		1	—	—	1	—	—	—	2
豆 腐 製 造 業		11	1	1	13	3	—	2	16
納 豆 製 造 業		1	—	—	1	—	—	—	1
めん類製造業		6	1	—	7	—	—	—	11
総 菜 製 造 業		14	4	4	22	2	5	3	21
添 加 物 製 造 業		—	—	1	1	—	—	—	2
清涼飲料水製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷 雪 製 造 業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷 雪 販 売 業		3	3	2	8	—	1	1	4
小 計 (1)		3,142	582	446	4,170	481	358	384	4,223
県 条 例	魚 介 類 行 商	3	3	2	8	3	—	—	2
	魚 介 類 加 工 業	10	6	5	21	—	1	1	21
	はつ酵乳等販売業	23	3	3	29	2	1	—	7
小 計 (2)		36	12	10	58	5	2	1	30
計		3,178	594	456	4,228	486	360	385	4,253

(2) 許可を要しない営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数				新規件数	廃業件数	監視指導 件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計			
給食施設	学 校	27	8	6	41	—	—	54
	病 院 ・ 診 療 所	6	2	3	11	—	2	8
	事 業 所	2	—	2	4	—	1	3
	そ の 他	43	13	9	65	2	4	48
乳 搾 取 業		—	—	—	0	—	—	—
食 品 製 造 業		100	16	23	139	11	7	66
野 菜 ・ 果 物 販 売 業		269	86	42	397	14	10	176
総 菜 販 売 業		169	62	25	256	11	8	188
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		602	146	90	838	31	26	267
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		678	169	112	959	48	38	508
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 製 造 又 は 販 売 業		169	41	26	236	11	10	170
食 品 添 加 物 の 製 造 業		—	—	1	1	—	—	3
食 品 添 加 物 販 売 業		18	5	4	27	3	—	49
氷 雪 採 取 業		—	—	—	0	—	—	—
計		2,083	548	343	2,974	131	106	1,540

(3) 営業施設数の年度別推移 (5年間)

種 別	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	
許可を要する施設	政令分	4,206	4,162	4,166	4,196	4,170
	条例分	57	58	58	57	58
許可を要しない施設	2,749	2,781	2,865	2,949	2,974	

(4) 調理師免許等関係事務の取扱い

区 分	新 規	書 換	再 交 付
調 理 師	59	5	14
製 菓 衛 生 師	12	0	0
ふ ぐ 包 丁 師	3	0	0
計	74	5	14

2 食品等の収去検査

消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

(1) 食品等の品目別検査結果

品目	項目	収去 検体数	不適 検体数	不適内訳	
				細菌試験	理化学試験
魚介類		5	—	—	—
冷凍食品		—	—	—	—
魚介類加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		5	—	—	—
肉卵類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		7	—	—	—
乳及び乳製品		—	—	—	—
乳類加工品		—	—	—	—
アイスクリーム類・氷菓		10	1	1	—
穀類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		6	—	—	—
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		22	—	—	—
菓子類		23	—	—	—
清涼飲料水		—	—	—	—
酒精飲料		—	—	—	—
缶詰・瓶詰食品		—	—	—	—
その他の食品		55	—	—	—
添加物		—	—	—	—
器具及び容器包装		2	—	—	—
おもちゃ		—	—	—	—
計		135	1	1	0

(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移（5年間）

区分	年度	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
検体数		361	157	153	106	135
不適検体数		—	1	—	—	1

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等について講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

(1) 食品衛生講習会の実施状況

区分		開催回数	参加人員	内 容
営業者関係	食品衛生責任者	33	2,208	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生管理運営基準 ・食中毒予防
	上記以外	5	116	
	計	38	2,324	
消費者		2	69	・食中毒予防

4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例の発生に際し迅速かつ的確な調査を実施し、原因究明に努めました。食中毒と決定した事例はありませんでした。

5 食品関係等の苦情処理

食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

(1) 食品等の苦情処理

種別	項目	異物混入	かび	腐敗変敗	異味臭	不衛生	容器包装の不良	有症情	その他	計
		苦情	苦情	苦情	苦情	苦情	苦情	苦情	苦情	苦情
施設等に関するもの		—	—	—	1	9	—	—	3	13
食品に関するもの	乳・乳製品・乳類加工品 (直接飲用に供する物)	1	—	—	—	—	—	—	1	2
	乳・乳製品・乳類加工品 (上記以外の物)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	魚介類及びその加工品	1	—	—	—	—	—	1	—	2
	卵・肉類及びその加工品	1	1	1	—	1	—	1	1	6
	穀類及びその加工品	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	豆類及びその加工品	1	—	—	—	—	—	—	1	2
	野菜類及びその加工品	—	3	—	2	1	—	1	—	7
	菓子類	3	—	1	—	1	1	4	6	16
	複合調理食品	2	1	—	3	2	—	19	1	28
	その他の食品	—	—	—	4	1	—	1	8	14
小計		9	5	2	9	6	1	27	21	80
計		9	5	2	10	15	1	27	24	93

(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)

年度	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
件数	114	162	103	94	93